



## 第4期 金沢区地域福祉保健計画

(計画期間：令和3年度～7年度)

# 金沢ささえあいプラン

～知る・つながる・地域でかがやく～

(素案)

金沢区で生活をする「あなた」も含めた誰もが安心して住み続けられるように、  
**皆様のご意見をお聞かせください！**

【募集期間】

令和3年9月11日(土)～10月8日(金) 必着

【こんなご意見・ご提案をお待ちしています！】

◆計画の内容について

- ・「地域で**こんな取組があったらいいな**」というご意見やアイデア
- ・素案の中で**この部分が気になった**（関心を持った、分かりにくい）
- ・既に「地域のつながりづくり」や「担い手確保」に向けて**こういう取組を行っている**

◆計画の普及・啓発について

計画を多くの人に**知っていただくためのアイデア**やご意見

◆ご自身や地域の皆さんで**取り組めそうなこと、心がけたいこと**

(あいさつ、声かけ、ちょっとした買物等のお手伝い、行事の手伝い等)

こんな金沢区に  
なるといいな



金沢区幸せお届け大使  
ぼたんちゃん

令和4年2月発行予定の金沢ささえあいプラン冊子の表紙は、障害のある方が作成したイラストを掲載予定です。

また、地域からご提供いただく写真については現在調整中です。

金沢区役所

金沢区社会福祉協議会

# この冊子を手にとってくださった あなたへ

冊子を手にとってくださりありがとうございます。

「金沢ささえあいプラン」は金沢区で生活をする「あなた」も含めた誰もが安心して健やかに住み続けられるように、みんなで金沢区を良くしていくための計画です。

令和元年度末からは、新型コロナウイルスの感染拡大により地域活動の継続が難しい状況になりましたが、「こんな金沢区になるといいな」という思いを込めて地域の皆さんと話し合いを重ねて作られました。

金沢区では少子高齢化等を背景に生活に困りごとを抱えていたり不安を感じている人が増えています。

- 一人ひとりが大切にされ、誰もが持っている力を発揮できる
- 身近な地域でのちょっとした支えあいや安心の輪が広がる
- 必要な情報が行き届いている

そんな金沢区をみんなで一緒に作っていきたいと考えています。

これまでの取組や活動が発展し、さらに魅力あふれる金沢区になるように

**ぜひ「あなた」の力も貸してください。**



多様性を表すようなイラストを掲載予定

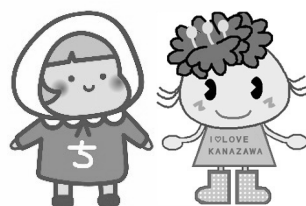
# 目 次

第1章 金沢ささえあいプラン（第4期金沢区地域福祉保健計画）とは	2
1 金沢ささえあいプランってなあに？	
2 第3期計画の振り返り	
3 金沢ささえあいプラン（第4期計画）の考え方	
第2章 区域計画について	10
1 計画の全体像	
2 目標に向けた取組	
推進の柱1	
推進の柱2	
推進の柱3	
第3章 地区別計画について	27
第4章 金沢ささえあいプラン（第4期計画）の進め方	28
1 計画の推進体制	
2 各機関の役割	
第5章 金沢ささえあいプラン（第4期計画）の背景	31
1 データで見る金沢区の状況	
2 策定経過	
第6章 資料集	37
1 地域で活動する主な活動団体等	
2 相談・支援機関一覧	
3 区域計画の取組にかかる問合せ先一覧	

横浜市地域福祉保健計画キャラクター  
ちぶくちゃん



誰もが安心して健やかに暮らせる「よこはま」をみんなで作るため、まちの中を歩いて、人々を見守っています  
見守りの様子は動画を見てね



金沢区幸せお届け大使  
ぼたんちゃん

区の花「牡丹」の妖精です  
金沢区役所のホームページで区の素敵な場所や事柄をたくさん紹介しています

～ぼたんちゃん、ちぶくちゃんが、金沢ささえあいプランについてご案内します～

# 第1章 金沢ささえあいプラン（第4期金沢区地域福祉保健計画）とは

## 1 金沢ささえあいプランってなあに？



### (1) 計画の目的

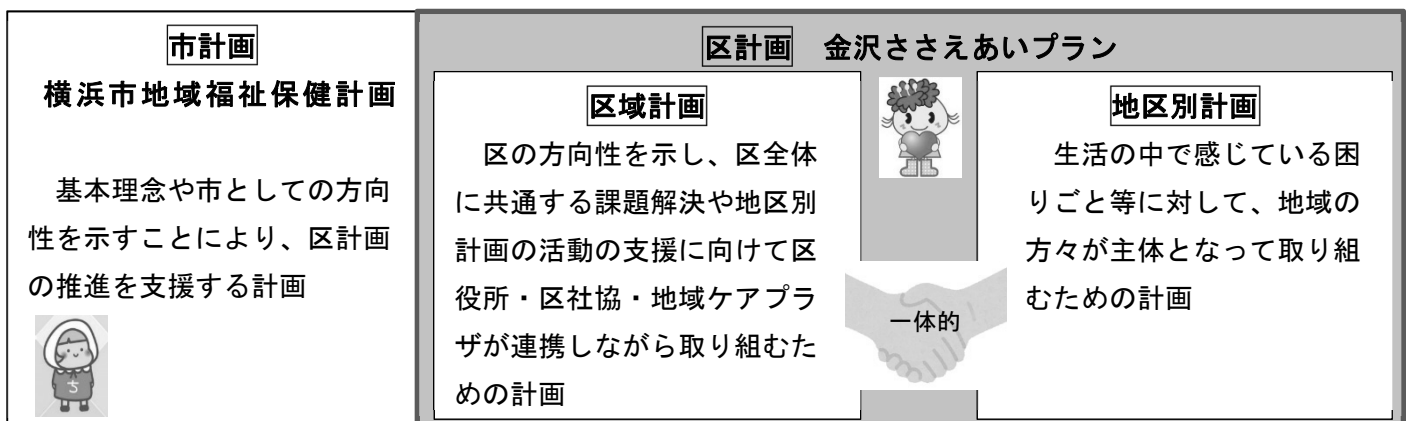


金沢ささえあいプランは、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指して、地域の皆さんと関係機関、区役所等が協働して取り組むための金沢区地域福祉保健計画です。

### (2) 計画の構成



横浜市の地域福祉保健計画は、市計画、18区の区計画及び地区別計画で構成されています。そして、区計画である金沢ささえあいプランは、金沢区全体の共通した課題や地域での取組の支援策等について、区役所・区社協<sup>※1</sup>・地域ケアプラザ<sup>※2</sup>が連携しながら取り組む区域計画と、地区ごとの生活課題に対して地域の方々を中心に取り組む地区別計画からなり、一体的に推進しています。



社会福祉法第107条に、地域福祉の推進に関する事項を定める「市町村地域福祉計画」が位置づけられています。

#### ※1 金沢区社会福祉協議会（区社協）とは

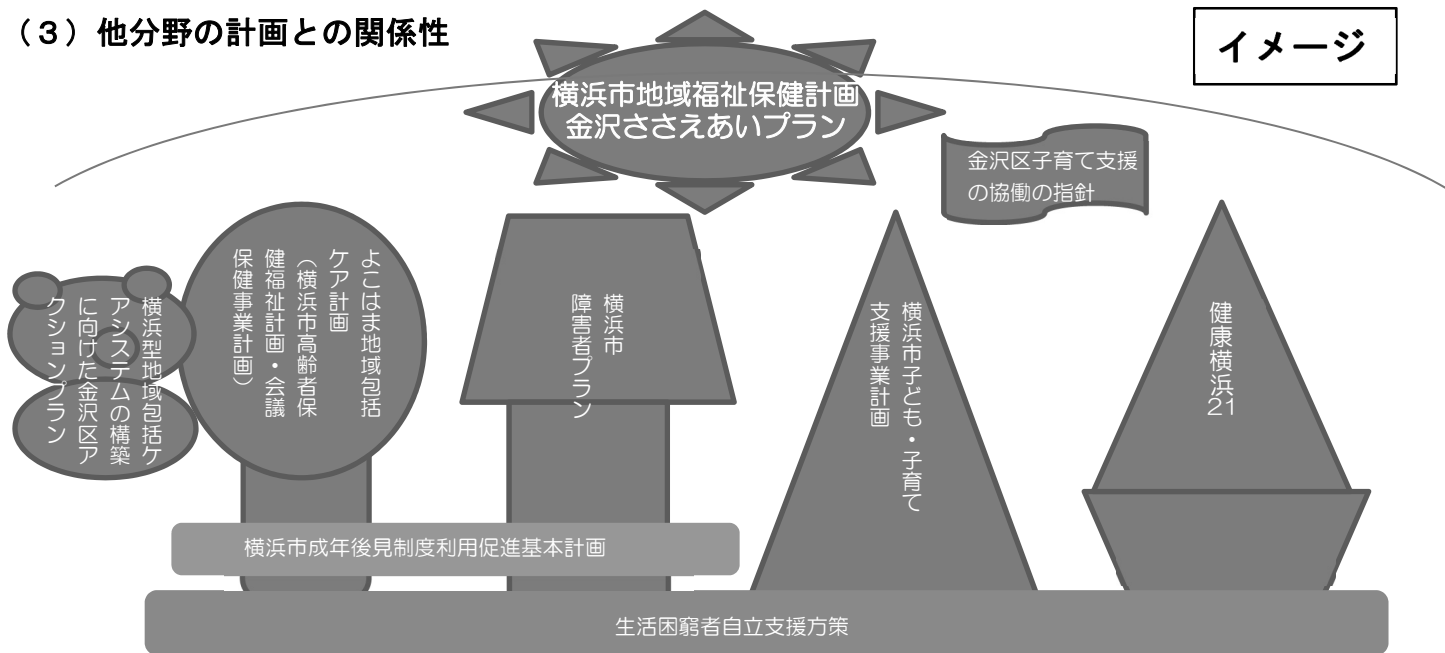
社会福祉法第109条にもとづき、地域福祉の推進を図ることを目的とする団体です。地域住民や社会福祉関係者等が会員として関わり、その協力を得ながら活動を進めることが特徴です。民間としての「自主性」と、広く住民や社会福祉関係者に支えられる「公共性」という2つの側面を併せ持った組織です。

#### ※2 地域ケアプラザとは

誰もが地域で安心して暮らせるよう、身近な福祉・保健の拠点として様々な取組を行っている横浜市独自の施設です。詳細は30ページをご覧ください。

### (3) 他分野の計画との関係性

イメージ



横浜市では高齢者・障害者・子ども・保健分野で法律を根拠とした分野別計画を策定していますが、地域福祉保健計画は各分野別計画の方向性をとらえ、横断的な仕組みづくりの役割を果たします。

### (4) 計画期間



これまで5年毎に見直しを行いながら第3期計画まで推進してきました。第4期計画は令和3年度から7年度までの5年間を対象とする計画です。本来は第4期計画が始まる前の令和2年度中に策定予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で必要な話し合いが十分にできなかったため策定を1年延ばしました。令和3年度は計画の策定とともに、盛り込む内容を先取りした取組を地域の皆さんと関係機関、区役所等で進めています。

	H8~17	H18~22	H23~27	H28~R2	R3~R7	R8~
区役所		第1期地域福祉保健計画	第2期地域福祉保健計画	第3期地域福祉保健計画	第4期地域福祉保健計画	第5期地域福祉保健計画
区社協	第1次地域福祉活動計画	第2次地域福祉活動計画	第2期地域福祉保健計画 (一体的に推進)			

第2期計画からは区社協が作成する地域福祉活動計画と一体的に策定・推進しています



## 2 第3期計画の振り返り



### (1) 主な取組と成果

第3期計画では、「誰もが安心して健やかに住み続けられる支えあいのまちづくり」を基本理念とし、3つの重点テーマを掲げて取組を進めました。

<p><b>1 身近な知りあいを増やし安心の輪を拡大</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代交流イベントの開催、地域・こども食堂、地域サロン等の居場所づくり等、身近な地域で知りあいを増やす取組が、各地域で行われました</li> <li>・認知症や障害理解のための福祉教育や啓発活動が、学校や地域で行われました</li> <li>・ひとり暮らし高齢者の安否確認や関係機関と連携した見守り活動が行われました</li> </ul>
<p><b>2 みんなで健康づくりに取り組みいきいきとしたまちへ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な場所での健康づくりや介護予防の場が増え、仲間づくりにもつながりました</li> <li>・様々な機会や媒体を通じて健康づくりに役立つ情報が発信されました</li> </ul>
<p><b>3 『得意』や『経験』をいかしてわたしもあなたも地域も元気に</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアや地域活動に参加するためのきっかけとなる講座や研修会等が行われました</li> <li>・ちょっとした生活の困りごとを、住民がボランティアとして支援する取組が広がってきました</li> </ul>

暮らしを取り巻く背景等の変化も踏まえて検討を進めました。詳しいデータは第5章「金沢ささえあいプランの背景(31ページ～)」をご覧ください。

### (2) 第4期計画へ引き継がれる課題

#### ◆様々な背景を持つ方への理解と支援が届く仕組みづくり

- ・少子高齢化や核家族化等の社会状況の変化により、介護や育児の孤立化、SOSの声を挙げにくい背景(5ページ参照)等、生活に困りごとを抱える方たちが増加しています。
- ・年齢や性別、障害や国籍の違い等価値観も多様化しており、様々な背景を持つ方への理解を深める必要があります。



#### ◆地域の取組に携わる人を増やす

- ・支援を必要とする方が増える一方で、活動団体の7割以上が担い手不足に悩んでいます。

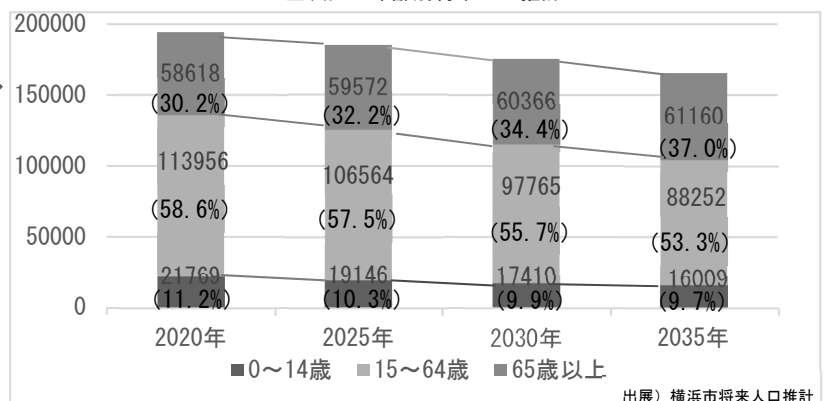
#### ◆「支えあいのまちづくり」の必要性や地域の活動周知

- ・支えあいのまちづくりを目指して地域で様々な取組が行われていますが、計画や取組を知らない方が多い状況です。

10年後  
更にその先の金沢区は…

2035年には大人5人で4人の高齢者を支える時代が来るため、これまで以上につながり・支えあいの重要性が増しています。

金沢区の年齢別将来人口推計



### (3) 地域や関係機関の皆さんから出た意見

<b>1 地区推進連絡会（29 ページ参照）で出された主な意見</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域の人に活動や取組をもっと知ってもらいたい</li><li>・ 少子化だからこそ親子が参加できる行事や場は大事。若い方たちに地域の活動に参加してほしい</li><li>・ 地域活動の担い手が高齢化している。次の担い手につながる取組が必要</li></ul>
<b>2 地域福祉保健計画推進委員会（29 ページ参照）で出された主な意見</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 困っている方自身が SOS の声を挙げられ、それを受け止められるような地域づくりが大切</li><li>・ 誰もが生活しやすい環境について、誰もが発信していけると良い</li><li>・ 子どもの頃からの福祉や人権の教育、地域の行事への参加を通じて、将来のボランティアにつながるような、『きっかけ』を広げていく取組が必要</li><li>・ ボランティアに興味がある人が、もっと気軽に参加できるような仕組みや取組があるとよい</li><li>・ 障害のある方がもっと地域に出ていけるようになる取組が必要</li></ul>
<b>3 支援機関等へのヒアリングから</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 中途障害者地域活動センター（ライブアップ金沢） 地域での緩やかな見守りと、何かあった時に連絡をもらえるような関係を地域と築けたら・・・</li><li>・ 金沢区地域子育て支援拠点（とことこ） 金沢区は地域サロンが他区と比べて充実している。今後は各地域に積極的に出向いて連携していけたら・・・</li></ul>

#### SOS の声を挙げにくい背景には何があるの？



地域には様々な背景を抱えている方が生活していますが、病気や障害の有無に関わらず困っていることに気づきにくい、困っていると声を挙げにくい方が近年増えています。

例えば以下の背景等です。

はちまるごーまる・ななまるよんまる

- ・ いわゆる 8050・7040 問題：80（70）代の親と 50（40）代の子どもの組合せによる経済的な困窮や社会的孤立（ひきこもり）等の生活問題
- ・ ヤングケアラー：本来は大人が担うとされている家事や世話等を日常的に行っている 18 歳未満の子ども
- ・ ダブルケア：子育てと親等の介護が同時期に発生している状態
- ・ 生活困窮：様々な事情により経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある状態
- ・ セルフ・ネグレクト：病気や地域からの孤立等を背景として健康状態や生活環境が悪化していても適切な医療や介護サービスを望まず、周囲に助けを求めない状態

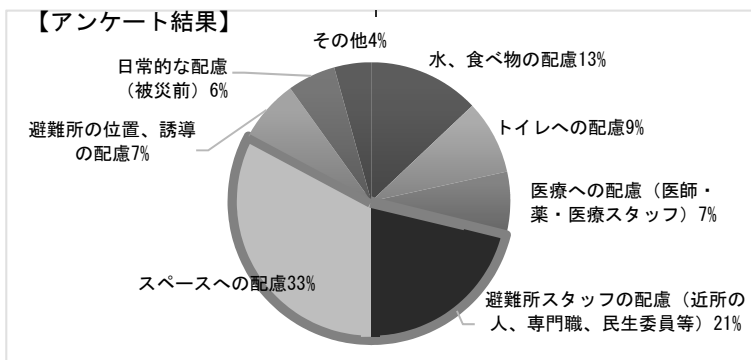
金沢ささえあいプランでは個人に寄り添いながら潜在的な課題に対しても目を向けて、関係機関が連携しながら解決の糸口を一緒に考えていきます。

## 障害児・者から聴かれた声（災害時への備え）

障害者自立支援協議会<sup>※3</sup>は、障害児・者が安心して生活できる地域づくりを協議する場です。

令和2年度障害者自立支援協議会では、金沢区内にある障害福祉事業所や精神科デイケアを利用している障害児・者とそのご家族に「大きな災害への備え」を尋ねるアンケートを実施し、488人の方から回答を得ました。「具体的にどのような支援や配慮があれば、避難場所が利用しやすくなりますか？」という質問には、「スペースや避難所スタッフの配慮」があれば利用しやすくなる、という回答が半数以上となっています。

災害等でも地域で暮らす障害者が安心して生活を送れるよう、地域防災拠点等において障害理解・啓発を目的とした出前講座を行っています。



出前講座の様子

### ※3 障害者自立支援協議会とは

障害者が地域で安心して生活するために「人と人をつなぎ、地域の課題を地域で共有し、解決に向け地域で協働する場」が障害者自立支援協議会です。障害福祉に関わる支援者のみに限らず、保健、医療、教育、就労、当事者、地域に住む方等、障害者の地域生活に関わる多様な方々で構成されています。

☞問合せ先：「障害者支援担当」40 ページ参照

## コラム

### 地域生活支援拠点整備事業について

障害児・者の重度化、高齢化や「親の亡き後」を見据え、居住支援のための機能（相談、緊急時の受け入れ・対応、体験の機会・場、専門的人材の確保・養成、地域の体制づくり）を持つ場や体制の整備を行う事業です。地域の実情に応じた創意工夫のもと、障害児・者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築することを目指しています。

#### 【具体的な取組】

- ①緊急時に迅速・確実な相談支援を実施できる体制づくりを考えます。
- ②施設や親元等から、グループホームや一人暮らし等へ生活の場の移行に対するハードルが下がるよう、体験の機会の提供等を通じ障害者の地域生活を支援します。

☞問合せ先：「障害者支援担当」40 ページ参照

#### 【障害の表記について】

障害という言葉については「障がい」や「障碍」という文字での表記といった例も見られますが、金沢ささえあいプランについては、「障害者を取り巻く社会の側に壁があることにより、日常生活や社会生活を送ることに支障がある」という考え方にに基づき、「障害」という表記で統一することとしました。その表記に影響されることなく、社会の障害や障壁を解消できるよう着実に計画を推進していきます。



令和元年度末からの新型コロナウイルスの感染拡大により、人と人が距離を取り接触を控える等の行動や活動の自粛・抑制が求められ、顔の見える関係づくりやふれあいを基盤とした活動が休止となった結果、孤立を感じる人が増えました。また収入が減り、経済的に困窮している人の存在も明らかになりました。

しかし、このような状況下だからこそ、身近な地域の中でのつながりと支えあいを大切にしたいという思いで、感染予防に留意しながら様々な取組が行われました。

### 【事例紹介】

#### ■見守り、つながりを絶やさないために

- ・ひとり暮らし高齢者へ、電話による状況確認や玄関先で距離を保っての訪問活動
- ・密を避けるため少人数による開催や入替制の導入、活動内容の変更等を工夫した地域サロン等の再開

#### ■健康を保つために

- ・自宅でもできる体操等の紹介
- ・ベランダでのラジオ体操
- ・屋内の健康づくりから屋外でできるウォーキングへ活動内容の転換
- ・イスに座ってできる体操等の工夫
- ・十分な換気、机や物品等の消毒

写真  
(調整中)

写真  
(調整中)

#### ■みんなで力を合わせて

- ・会場を使う団体や担い手に対して感染防止対策の説明会の開催や会場へのルール掲示
- ・コロナ禍で活動ができない地域の活動団体や担い手に対して情報共有の場を設ける等の支援

#### ■SNS やインターネットを活用した新たな情報発信・交流

- ・SNS やインターネットを活用した会議の開催や健康づくりの情報発信、子育て相談等



#### ■生活困窮者への支援

- ・アルバイトができず生活に苦慮しているひとり暮らし等の学生や、ひとり親世帯等を対象に、民生委員児童委員協議会や大学等の関係機関と連携した食の支援



### 3 金沢ささえあいプラン（第4期計画）の考え方



#### (1) 基本理念の継承



第3期計画の振り返り等を踏まえて、第4期計画では第3期計画の基本理念を引き継ぎ、「誰もが安心して健やかに住み続けられる支えあいのまちづくり」を目指して、これまでに積み重ねてきた活動がさらに発展するように取り組んでいきます。

#### (2) 推進の3つの柱



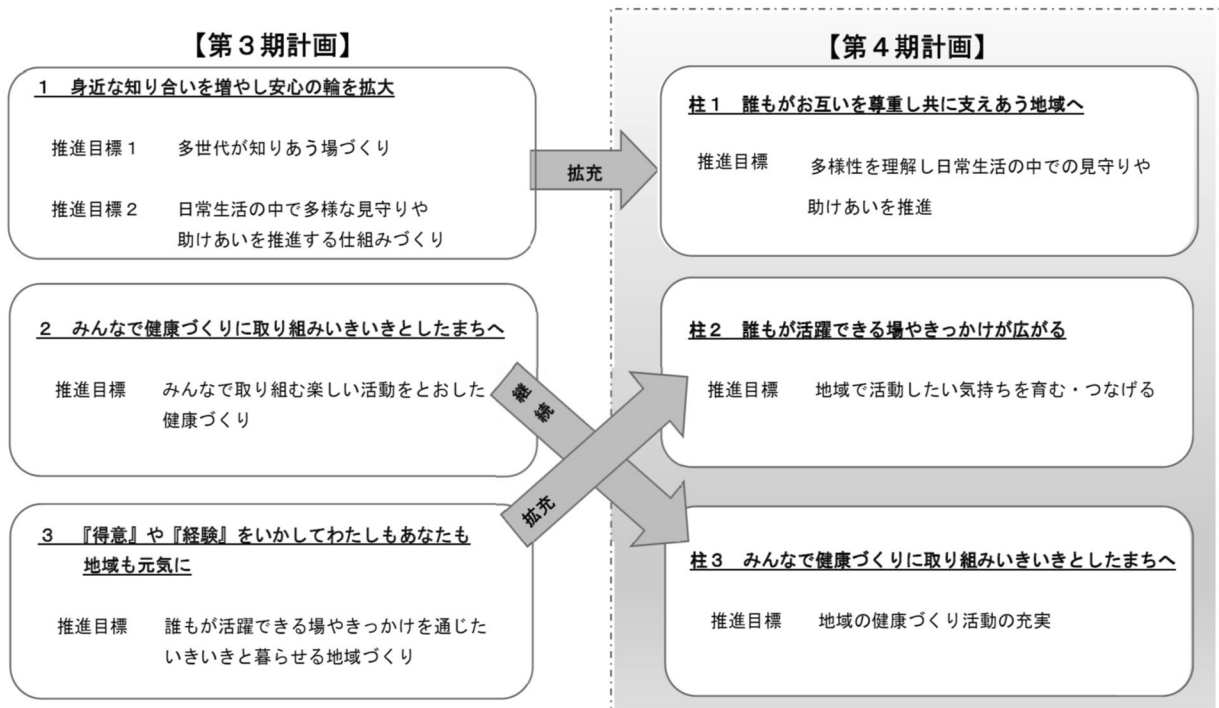
第4期計画では、これまでの取組を引き継ぎつつ、3つの推進の柱に沿って取組を進めていきます。

「柱1」では、多世代が知りあう場づくり等を通じた「身近な知りあいを増やす取組」から一歩踏み込み、一人ひとりの違いや個性を理解し、普段の生活の中での見守り・助けあい、支援が届く仕組みづくりを拡充します。

「柱2」では、区全体の課題となっている、地域活動の担い手不足に対する取組を拡充し、取組に携わる人を増やしていきます。

「柱3」では、健康づくりでもこれまでの取組に加えて、自主活動の担い手の発掘・育成により、地域の人材づくりにもつながる取組を進めていきます。

更にあらゆる手段・手法を活用して地域の活動等の情報発信をより一層進めていきます。



#### 全てにおいて情報発信が必要だね！！

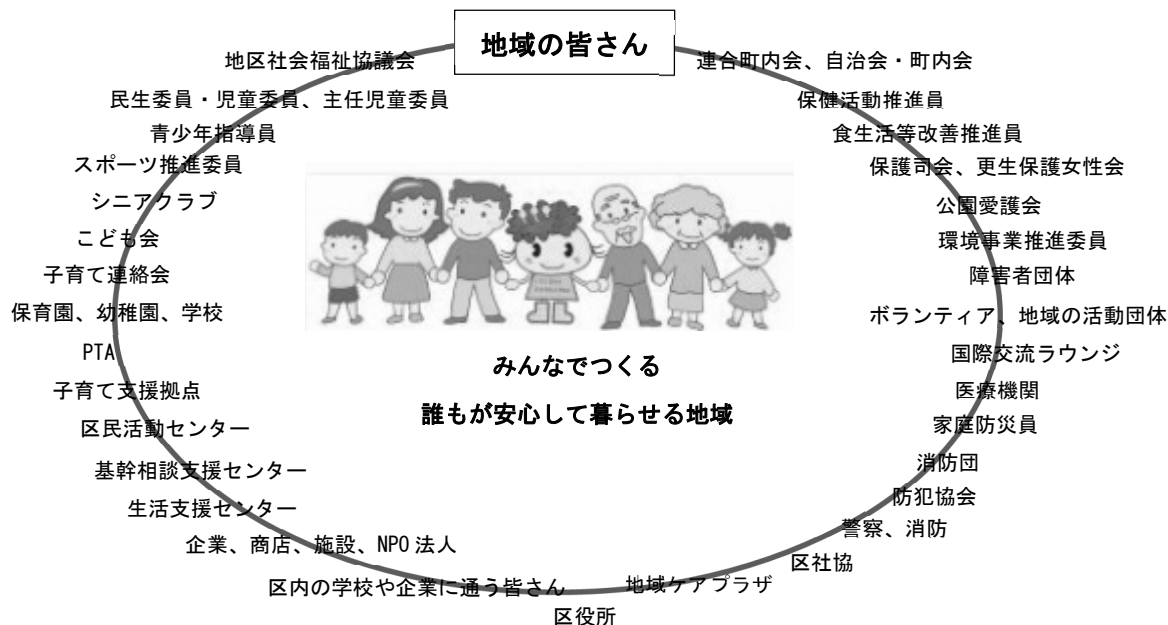
地域の情報は掲示板や回覧板の他に、ホームページや SNS でも発信されています  
金沢区役所の Twitter もぜひ見てください



金沢区役所  
Twitter

### (3) 取組の進め方

金沢ささえあいプランは地域の皆さんと関係機関、区役所等のみんなが協力して進めていきます。「一人ひとりができること（自助）」「地域のみなができること（共助）」「区役所・区社協・地域ケアプラザができること（公助）」を関連させながら、みんなが安心して健やかに住み続けられる金沢区を目指します。



#### なぜ地域で支えあうの？



かつての福祉は対象者ごとに必要な公的サービスが提供されていましたが、地域で生活する方の背景や価値観が多様化しており、誰もが住み慣れた地域で安心して生活をしていくためには公的サービスに加えて、人と人とのつながりを基本としたちょっとした「支えあい」や緩やかな「見守り」の重要性が増しています。

また、地域で暮らしている中で支援が必要と思われる方であっても、できることがあります。例えば、移動する際のサポートがあれば沢山の知識や経験を発揮できる方、話すことは苦手でも写真撮影が得意な方、歌や絵が上手な子どもたち、スマホや SNS が得意な学生等その方にとっては何気ない日常のことで誰かにとっては喜ばれることは意外と多いものです。






**自分にできるちょっとしたこと（ささえ）が  
たくさん増えると支えあいになるね**

## 第2章 区域計画について

### 1 計画の全体像

#### 【基本理念】

誰もが安心して健やかに住み続けられる 支えあいのまちづくり

	 柱1	 柱2	 柱3
推進の柱	誰もがお互いを尊重し 共に支えあう地域へ	誰もが活躍できる場や きっかけが広がる	みんなで健康づくりに 取り組み いきいきとしたまちへ
推進目標	多様性を理解し 日常生活の中での 見守りや助けあいを推進	地域で活動したい 気持ちを 育む・つなげる	地域の健康づくり活動 の充実
キーワード	知る・つながる ・支えあう	きっかけ・つながる ・地域でかがやく	すこやか・つながる ・いきいき
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆様々な人が交流できる機会が増え、地域の顔見知りが増えている</li> <li>◆年齢、性別、障害、国籍等、様々な立場・背景のある方や生活に困りごとを抱えている方がいることへの理解が進んでいる</li> <li>◆日常生活の中での多様な見守りや助けあいの仕組みが推進されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域活動やボランティア活動に興味がある人が増えている</li> <li>◆多くの住民がそれぞれにできることに取り組み、地域で活躍できる場や活動を支援する仕組みができている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆様々な媒体や機会を通じて健康づくりに役立つ情報が提供されている</li> <li>◆つながりの中で、楽しく取り組むことができる地域の健康づくりの場や機会が充実している</li> </ul>
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域でつながりを持てる機会や場づくり</li> <li>・住民同士や地域資源と連携した見守り・助けあいの推進</li> <li>・福祉や人権に関する学習や地域活動に触れる機会の充実等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な媒体や機会を通じた地域活動の取組や魅力等の情報発信</li> <li>・ボランティア活動や地域活動に参加できる機会の充実</li> <li>・誰もが自身の力を発揮して地域で活躍できる場づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な媒体や機会を通じた健康情報の発信</li> <li>・身近な場所での健康づくりの場や機会の充実</li> <li>・地域で健康づくりに取り組む団体の支援や推進役となる人材の発掘と育成</li> </ul>

# 区域計画 ページの見方

推進の柱と第4期計画期間内での推進目標を書いています

**【こんな金沢区になったらいいな】**  
 これまでの取組等から見えてきた課題を踏まえ、目標の達成に向けて目指すまちの姿を書いています

**【はじまっているよ！こんな取組】**  
 地域で行われている取組で地域活動の参考になるような、広がってほしい取組を具体的に紹介しています

2 目標に向けた取組

**推進の柱1 誰もがお互いを尊重し共に支えあう地域へ**  
 ～多様性を理解し日常生活の中での見守りや助けあいを推進～

**こんな金沢区になったらいいな♡**

- 知る** ◆様々な人が楽しく交流できる機会が増え、地域の認知知りが増えている
- つながる** ◆年齢、性別、障害、国籍等、様々な立場・背景のある方や生活に困りごとを抱えている方がいることへの理解が進んでいる
- 支えあう** ◆日常生活の中での多様な見守りや助けあいの仕組みが推進されている

**一人ひとりが取り組めること**

**地域で協力して取り組めること**

**区役所・区社協・地域ケアプラザの取組**

金沢区でもはじまっているよ！こんな取組

区役所、区社協、地域ケアプラザでも進めているよ！こんな取組

**【キーワード】**  
 誰にでも分かりやすいようにキーワードをつけました

**【一人ひとりが取り組めること】**  
**【地域で協力して取り組めること】**  
**【区役所・区社協・地域ケアプラザの取組】**  
 目指す姿の実現に向けて、計画の取組主体である「区民の皆さん」や「地域の皆さん(9ページ参照)」、「区役所」「区社協」「地域ケアプラザ」の取組ポイントや例示を書いています。

**【進めているよ！こんな取組】**  
 区役所、区社協、地域ケアプラザ等で進めている取組を具体的に紹介しています



## 2 目標に向けた取組

推進の柱1 誰もがお互いを尊重し共に支えあう地域へ  
～多様性を理解し日常生活の中での見守りや助けあいを推進～



### こんな金沢区になったらいいな

知る

◆様々な人が楽しく交流できる機会が増え、地域の顔見知りが増えている

つながる

◆年齢、性別、障害、国籍等、様々な立場・背景のある方や生活に困りごとを抱えている方がいることへの理解が進んでいる

支えあう

◆日常生活の中での多様な見守りや助けあいの仕組みが推進されている



#### 一人ひとりが取り組めること

- ・お住いの町内で行われている行事や活動に関心を持って参加してみる
- ・ご近所の方への「挨拶」をする
- ・一人ひとりの違いや個性を理解して、お互いの存在を認めあう
- ・困ったときはお互い様の気持ちで、日常生活でのちょっとした困りごとを手伝ってみる

「あなた」なら？



#### 地域で協力して取り組めること

- ・地域での居場所づくりやイベント等を通じて地域で顔の見える関係づくりを進める
- ・病気や障害のある方、外国につながる方等、誰もが地域の活動に参加しやすい工夫や地域で活躍できる機会をつくる
- ・大規模災害時に避難活動や要援護者の安否確認等の助けあえる取組を進める
- ・施設や企業等と、イベントの案内や情報交換等を通じてつながりを持つ



## 区役所・区社協・地域ケアプラザの取組

- ・子どもの頃からの福祉・人権に関する啓発、地域活動に参加できる機会を広げます
- ・SOSの声を挙げにくい背景（5ページ参照）を理解するための啓発活動を行います
- ・フードドライブ<sup>※4</sup>を活用したこども食堂等への支援等、食を通じた地域のつながりづくりを進めます
- ・企業や施設等の地域資源とも連携した見守り・助けあいの取組を進めます
- ・個別支援と地域の課題解決に向けた支援を連動させた課題解決のための仕組みづくりを進めます
- ・関係機関との連携を活かし、支援が必要な方の早期発見と支援が届く体制をつくります

※4 フードドライブとは

各家庭等で使い切れない未使用食品を持ち寄り、それらをまとめてフードバンク団体や地域の福祉施設・団体等に寄贈する活動

金沢区でも

## はじまっているよ!こんな取組

お住まいの近くでも地域  
サロンが開かれていますよ!



### 多世代交流イベント

見守り・支えあいの第一歩は顔見知りになることです。

地域には世代を超えて交流できる機会として「お祭り」「運動会」「バーベキュー大会」等があります。また、地域にある名所や施設を巡るウォークラリー等の地域の魅力を活かした楽しいイベントが数多く開催されている他、清掃活動を通じた顔見知り・つながりづくりもはじまっています。

写真  
(調整中)

写真  
(調整中)

写真  
(調整中)

写真  
(調整中)

### 誰でも参加できる居場所（地域サロン）

誰もが集える居場所を設けている地域もあります。

テーマを決めずに誰でも自由に出入りできる居場所の他、時には「男性」「手芸」「レコード」等とテーマを絞って仲間づくりを進めている地域もあります。また、同じ空間の中で「子ども食堂」と「麻雀・囲碁・将棋の会」を同時開催する等、世代を越えて参加できる居場所も広まっています。

写真  
(調整中)

写真  
(調整中)

### 子育てサロン

お母さんたちの仲間づくりやリフレッシュ、子どもたちの出会いの場として子育て中の親子が集えるサロンが多く地域で開催されており、情報交換の機会としても好評を得ています。また、番外編としてお父さんと子どもを対象とした企画もあり、普段は仕事で忙しいお父さんたちの育児参加の機会にもなっています。

写真  
(調整中)

写真  
(調整中)



## 企業と連携した見守り体制の推進 ～認知症高齢者等SOSネットワーク事業～

認知症は誰もがなりうるものであり、金沢区では、認知症の人も住み慣れた地域の中で尊厳を保ちながら、自分らしく暮らし続けることができる地域の実現を目指しています。

認知症になっても地域で安心して生活できるよう、行方不明時に早期発見・安全確保を目指した企業・警察・区役所の連携の仕組みに「金沢区認知症高齢者等SOSネットワーク事業」があります。

事前登録した行方不明者の連絡がご家族から警察に入ると、区役所を経て区内59か所の発見協力機関（交通機関、介護事業所、郵便局等）に行方不明者本人の情報が届きます。発見協力機関は通常業務の中で、発見・保護に協力いただいています。（令和3年8月現在）

☞問合せ先：「高齢者支援担当」40 ページ参照

## 食を通じた地域のつながり

区内の子ども食堂・地域食堂のネットワーク化を図るため「子ども食堂・地域食堂連絡会」を立ち上げました。それぞれの活動内容は多種多様ですが、食はあくまできっかけであり、食を通じたコミュニケーションを大事にしています。地域の居場所として、あたたかい食事を囲んで、地域の誰もが集い、様々なコミュニケーションが生まれています。

昨今は新型コロナウイルス感染症の影響で従来のような活動が制限されていますが、地域の中のつながりを絶やさないため、試行錯誤をしながら活動中です。

☞問合せ先：「区社協」40 ページ参照



## 学校での福祉教育

令和3年度より中学校の「技術・家庭科」の学習指導要領が改訂され、「自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う」ことが学習目標に明記されました。

現在、区内の一部中学校では地域ケアプラザ職員等が講師となって地域の活動について講義を行ったり、中学生が自分の地域で必要と考える取組を地域の皆さんの前で発表する等の交流が生まれており好評を得ています。今後はこのような取組が区内の他の学校でも広がるようワークシートを作成し、区内中学校で配付をします。

☞問合せ先：「事業企画担当」40 ページ参照



イメージ

## 多言語おはなし会

金沢図書館と金沢国際交流ラウンジが共催で実施している「多言語おはなし会」では、地域の外国籍の方に絵本の読み手を依頼し、同じ本を司書や地域の学生ボランティアが日本語で読みます。様々な国の言葉や絵本に触れられる機会として毎回好評を得ているほか、地域の読書活動の担い手拡大にもつながっています。

☞問合せ先：「金沢図書館・区民活動支援担当」40 ページ参照





## 区役所、区社協、地域ケアプラザでも 進めているよ!こんな取組

### 認知症の啓発（RUN伴）

RUN伴（とも）は、認知症の当事者や家族、支援者が、様々な福祉施設や拠点をタスキリレーでつなぎ、多くの人に認知症を知ってもらいながら、ネットワークを作る取組です。

金沢区では大学生を中心とした実行委員会の企画により、令和元年11月に初めて実施され、区内の全地域ケアプラザと2大学を巡り、沿道ですれ違う人たちからもたくさんの声援を受け、タスキをつなぐことができました。

当日、ある地域ケアプラザでは、デイサービスのご利用者や小学生の子どもたちがオレンジの旗を振りながら、オレンジのオリジナルTシャツを来たランナーご一行を笑顔と拍手でお出迎え。認知症のシンボルカラーであるオレンジ色に染まりました。

☞問合せ先：「区社協」40ページ参照

写真  
(調整中)

### 民生委員・児童委員による地域での見守り活動

民生委員・児童委員は誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、ひとり暮らし高齢者の方への見守りや、相談内容に応じた関係機関との連携、地域サロン等の地域活動の担い手等、さまざまな活動を行っています。

また、コロナ禍で困っている人を応援したいという気持ちをきっかけとして区社協と一緒にひとり親世帯への食支援を行い、地域の中での新たなつながりづくりを進めています。

☞問合せ先：「運営企画係」40ページ参照



### 住み続けたいまち 金沢を目指して

横浜市都市計画マスタープラン金沢区プラン「金沢区まちづくり方針」では、「訪れたい、住みたいまち 金沢を目指して」をまちづくりの目標と設定し、多様な主体との協働により、訪れたい、住み続けたいと思える魅力あふれるまちづくりを進めていくとしています。

その一つとして、横浜市と京浜急行電鉄(株)が連携協定を締結し、富岡・能見台圏と金沢区心部におけるまちの課題解決等に取り組んでいます。富岡駅西側のエリアでは、地域交通サービス「とみおかーと」の実証実験を平成30年度から行っており、今後の本格運行に向けた取組を進めています。

また、令和3年度より地域の魅力発見・発信協働事業として、区民カメラマンの募集をはじめ区民の皆さんとともに地域の魅力を再発見し発信することで、改めて区民の皆さんに金沢区の魅力に触れていただき、住み続けたいという定住意識につながるよう取り組んでいくとしています。

☞問合せ先：「区政推進課」40ページ参照



## 区役所、区社協、地域ケアプラザでも 進めているよ!こんな取組

### 人生の最期まで自分らしく生きられるように～意思決定の支援～



#### ① 「エンディング・ノート」、「もしも手帳」

介護や医療が必要になっても自分らしい生活を実現するために、あらかじめ準備し、行動することが大切です。

金沢区では、これまでの人生を振り返り、これからの人生を自分がどう生きたいかを考え、家族や大切な人と共有するきっかけとなるように、エンディング・ノート「これから」を発行しています。

また、もしもの時に備え、人生の最終段階での医療やケアについての考えを、家族の方等と話す際の手助けとなる「もしも手帳」も配布しています。

#### ② 成年後見制度の利用促進

成年後見制度は、認知症等により意思決定に支障のある方の権利や財産を守り、ご本人が住み慣れた地域で安心して生活を続けられるよう保護、支援する制度です。

ご本人、家族、支援者が、将来に備えあらかじめ権利擁護に関する正しい情報を持ち、適切なタイミングで成年後見制度に結びつける必要があります。

横浜市では、令和2年4月に中核機関「よこはま成年後見推進センター」を設置し、制度の広報や権利擁護に関わる相談機関への支援等を進めています。

☞問合せ先：「高齢者支援担当」40 ページ参照

### 生活困窮者自立支援制度

生活困窮者自立支援制度は、様々な事情によりお困りの方に対して、一人ひとりの状況に応じて寄り添い、自立を支援し、安定した生活ができるように、就労に関する相談支援や、家計の見直し、子どもの学習支援等を行っています。

お困りごとには、まず経済的な問題がありますが、その背景にある要因は1つに限定されないこともあります。例えば、「仕事を失った+家賃が払えない」「ローンが払えない+家計のやりくりが上手くできない」等、いくつかの要素が組み合わさって複合化していることがあります。

様々な事情から誰にも相談できず、一人あるいは家族だけで問題を抱え込んでしまい、そのストレスにより精神的な負担を抱えてしまうという悪循環が生じることもあります。

「制度が自分にあてはまるのか?」「こんな事相談してもいいのだろうか?」等迷われた場合も、一人で考え込まず、まずは、区役所生活支援課へご相談ください。

また、困りごとを抱える人が地域で孤立せず、早期に相談窓口につながるためには、身近な人が「気づき」「つなげる」ことが重要です。支援を必要とする人を早期に把握し、地域と連携した支援ができるように、地域ケアプラザ等と連携し、生活困窮者支援を通じた地域づくりに取り組んでいます。

☞問合せ先：「生活支援課」40 ページ参照

令和2年度実施  
ひきこもりに関する研修  
(柳町地域ケアプラザ)

令和元年度実施  
多世代交流イベント(富岡東地域ケアプラザ)



▶ YouTube 金沢区 ひきこもり 検索





## 第4期金沢区子育て支援の協働の指針 ～関係機関等と連携した子育てしやすい地域づくり～

### 【金沢区健やか子育て連絡会】

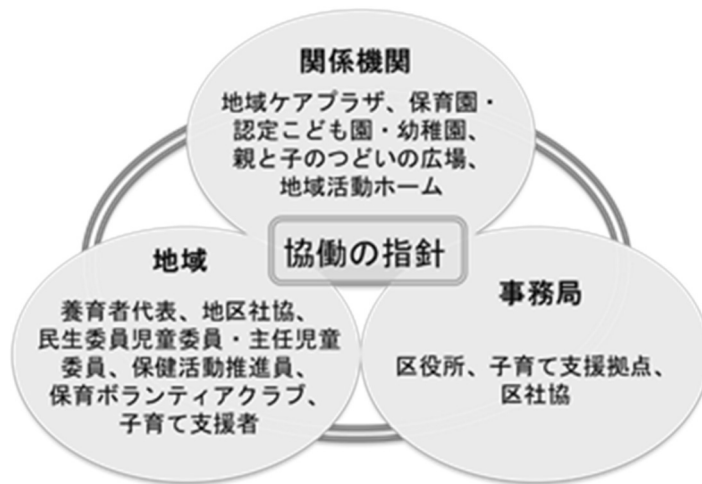
平成17年度に開始した、養育者・地域・関係機関・行政からつくる金沢区の子育て支援ネットワークです。金沢区の子育て支援（主に乳幼児期）にかかわる養育者・地域・関係機関・行政が集まり、活動や子育ての現状を共有し地域全体で活動を推進しています。

連絡会では「金沢区子育て支援の協働の指針」をもとにそれぞれの役割を確認しながら、顔の見える関係・連携を深め、子育ての課題を共有し、子育てしやすい地域づくりを進めています。

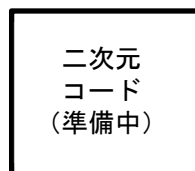
### 【第4期金沢区子育て支援の協働の指針】

令和元年度に連絡会で実施した「子育て実態調査」の結果と連絡会メンバーの意見、コロナ禍の子育て状況をもとに策定しました。協働の指針をもとに関係機関がそれぞれの役割を明確化し同じ目標に向けよりよく連携し活動していきます。計画の期間は令和3（2021）年度から令和7（2025）年度までです。

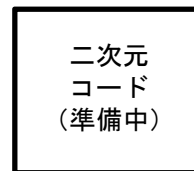
☞問合せ先：「こども家庭支援課」40ページ参照



健やか子育て連絡会 全体会



金沢区  
子育て実態調査



第4期金沢区子育て  
支援の協働の指針

### 【地域子育て支援拠点について】

就学前の子どもとその保護者が遊び、交流するスペースの提供、子育て相談、子育て情報の提供等を行う子育て支援の拠点で、利用登録のうえ、無料で利用いただける施設です。また、地域で子育て支援に関わる方のために研修会等も実施しています。金沢区では地域子育て支援拠点「とことこ」という名称で設置しています。



情報スペース



遊び・交流スペース

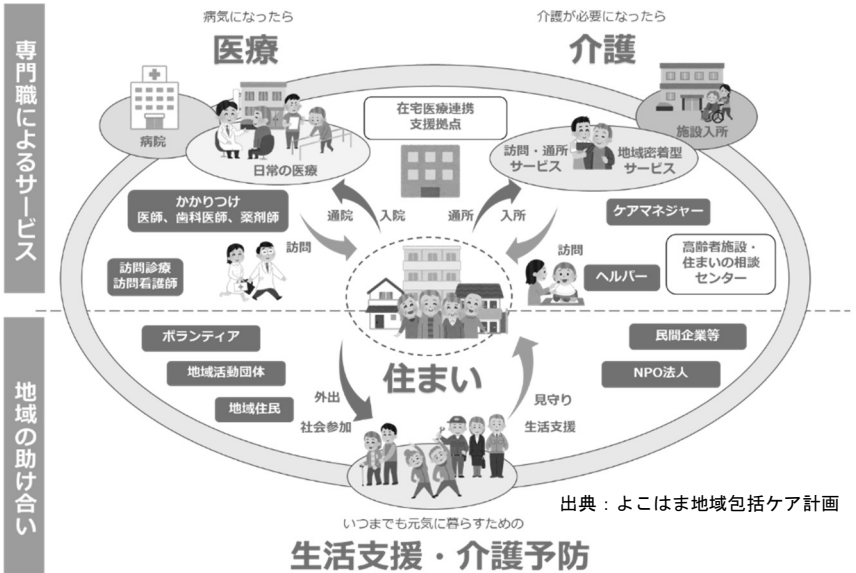


## 地域包括ケアシステムの実現にむけて ～住み慣れた地域で暮らし続けるために～

☞問合せ先：「高齢者支援担当」40 ページ参照

高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることが出来るよう「医療・介護・介護予防・生活支援・住まい」が一体的に提供される包括的な支援・サービスの提供体制のことで、地域ケアプラザを中心に日常生活圏域ごとに進めています。

金沢区では、「健康づくり・介護予防」「多様な主体による生活支援の充実」「在宅医療・介護連携」「認知症対策」に力を入れ、横浜市の独自施設である地域ケアプラザを「地域の身近な福祉保健の拠点」として進めています。令和3年度には、横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた金沢区アクションプランを作成し、取組を加速させます。



### 生活支援の取組例

#### ■移動販売

店舗が少ない、坂が多い等の理由で買物が困難という地域で、民間の進出の期待できない地区の地域課題を解決するため、地域ケアプラザ、区社協、区役所と複数事業者による話し合いを経て、令和2年2月に釜利谷地区西金沢ルート、同年3月には富岡第一地区・第三地区ルートの移動販売を、セブン-イレブンの協力のもと、開始されました。移動販売を行うことで、外出機会を創出し、地域での新たなコミュニティの形成や緩やかな見守りにつながっています。



セブン-イレブンによる移動販売

#### ■つながりづくり

##### 3rd place「釜利谷・柳町・六浦 CP 合同開催事業」

令和3年2月より開始した事業で、家庭でも職場でもないイギリスのパブやフランスのカフェのような居心地の良い第3の場所を目指します。コロナ禍でも「Zoomでつながる体験会」を月1回開催。また、Zoomにある程度慣れた方と毎回テーマを決めて「Zoomで話そう！」を開催し、つながりを創出しています。



「Zoomで話そう！」参加者の様子



## 推進の柱2 誰もが活躍できる場やきっかけが広がる

～地域で活動したい気持ちを育む・つなげる～

### こんな金沢区になったらいいな

きっかけ

◆地域活動やボランティア活動に興味がある人が増えている

つながる

◆多くの住民がそれぞれにできることに取り組み

地域でかがやく

地域で活躍できる場や活動を支援する仕組みができています



#### 一人ひとりが取り組めること

- ・お住いの町内で行われている活動や情報誌等に関心を持つ
- ・地域の活動に参加できるものがあれば、勇気を出して参加してみる
- ・参加してみて良かった事や感想を、ご近所や親しい人に伝える
- ・自分ができないことはないか考え、できそうなことがあれば手伝ってみる

「あなた」なら？



#### 地域で協力して取り組めること

- ・SNS やインターネットを活用した情報発信
- ・地域活動の魅力や、やっていた良かったこと等を発信する
- ・イベント等を実施する際には、参加者には簡単な役割を担ってもらう等、開催方法を工夫する
- ・地域活動が、一部の方たちの負担にならないよう役割分担を検討する



#### 区役所・区社協・地域ケアプラザの取組

- ・様々な機会や媒体を活用して地域のボランティアや活動団体の情報を集約・発信します
- ・区民や学校・施設・企業等を対象とした、ボランティア体験や養成講座を開催します
- ・得意なこと・興味があることをきっかけとした地域とつながるきっかけづくりを行います
- ・ボランティアに興味がある方を地域や活動場所につなぐコーディネートを行います
- ・地域の活動団体や担い手が活動を継続できるよう相談に応じたり、交流会等を開催します

## ちよいボラ

ちよいボラとは、身近なことでできる“ちょっとしたボランティア”のことです。

介護保険等の公的サービスでは対応が困難な電球の交換や庭木の剪定、外出や通院時の付き添い、子どもの見守り等、暮らしの中でのちょっとした困り事に対して、地域の皆さんで助けあえるような仕組みづくりやボランティアの養成もはじまっています。

写真  
(調整中)

写真  
(調整中)

## 通学時の見守り活動

核家族化や共働き世代の増加に伴い、小学生の通学時の見守りの必要性が高まっており、区内の複数の地域ではシニアクラブ等のメンバーを中心に通学時の見守りが行われています。シニアが活躍する場づくりや健康づくりにもつながっている他、挨拶を交わすことで地域の交流も活発になっています。

写真  
(調整中)

写真  
(調整中)

## 学校と連携した取組

小学校では昔遊びや昔の暮らしについて学習をしますが、地域のシニアが先生になってお手玉やけん玉等を教える取組が広がっています。

また、小学生が学校で育てた花の苗を民生委員・児童委員を通じてひとり暮らし高齢者や通学時の見守りでお世話になっている地域の方へ届けたり、福祉施設に歌や手紙を届ける等の取組もはじまっており、小学生の力が地域に暮らす方を元気にしています。

写真  
(調整中)

写真  
(調整中)

## 地域の防犯・減災活動

誰もが安心・安全に暮らせる地域づくりのために防犯パトロールやゴミ捨て場・公園等の清掃活動が行われています。また、地域の防災訓練に金沢区内の障害のある方が通う事業所や高齢者のグループホームが参加し、万が一の災害時に備え、安心して避難できる地域防災拠点の運営方法等を検討している例もあります。

写真  
(調整中)

写真  
(調整中)

金沢区でも

## はじまっているよ!こんな取組

### 趣味や特技を活かした地域活動への参加

地域には手芸やフラワーアレンジメントが得意な方、お菓子やパン作りが得意な方等、様々な趣味や特技をお持ちの方が暮らしています。そんな方たちの活躍の場として地域のお祭りの際に出店ブースを設けたり、「マルシェ（フランス語で市場の意味）」が開催され、賑わいを見せている地域もあります。マルシェには福祉作業所も出店しており、障害のある方の活躍や交流の場にもなっています。

また、音楽、スポーツやパソコン等、特技や得意な人を登録する「人材リスト」の作成もはじまっています。リストを生かして多世代が交流できるイベントを開催した他、日常的に得意が発揮できる「拠点」の整備につながった地域もあります。

写真  
(調整中)

写真  
(調整中)

写真  
(調整中)

区役所、区社協、地域ケアプラザでも

## 進めているよ!こんな取組

### 区民活動センターゆめかもん

区民が市民活動・生涯学習をはじめのきっかけづくりや、既に活動している個人・団体の自主的な活動を応援し、地域が育つ土壌づくりのお手伝いをしています。

様々な知識や技能を持った区民の登録制度「街の先生」では、地域からの依頼により登録者がイベントや講座で活躍しています。

☞ 問合せ先：「金沢区民活動センターゆめかもん」39 ページ参照  
「区民活動支援担当」40 ページ参照

### 地域の公園をきれいに（公園愛護会）

公園の地元自治会等、地域の皆さんを中心にボランティア団体を結成し、地域の公園として愛着を持ち地域で公園を管理できるよう、主として清掃、除草、花壇のかん水、利用マナーの指導等を行う団体です。男女問わず多世代の人が活躍しています。

活動内容は以下のアドレスから「公園愛護会だより」をご覧ください。

[https://www.city.yokohama.lg.jp/kanazawa/kurashi/machizukuri\\_kankyo/jimusho/koen/kouenaigokai.html](https://www.city.yokohama.lg.jp/kanazawa/kurashi/machizukuri_kankyo/jimusho/koen/kouenaigokai.html)

☞ 問合せ先：「金沢土木事務所」40 ページ参照



## 区役所、区社協、地域ケアプラザでも 進めているよ!こんな取組

### コミュニティサロン

いつでも、誰でも、ふらっと立ち寄れる「地域による地域の居場所」です。イベント・講座等も開催し、地域の交流のきっかけづくりもしています。

金沢区では、協働契約（つながりステーション）で結ばれたコミュニティサロンと区役所が連絡会を結成し、地域をもっと明るく、もっと元気にするために連携して活動しています。



さくら茶屋／さくらカフェ  
(西柴) ※写真はさくら茶屋



富岡サロン ジュピの  
えんがわ (富岡東)



もりのお茶の間 (六浦東)



地域の茶の間  
リトルハウス (六浦南)



Welcafe (長浜)



釜利谷ふれあいカフェ  
(釜利谷東)



みんなの居場所 結  
(洲崎町)



コミュニティサロン  
ほっこり (東朝比奈)

☞ 問合せ先：「区民活動支援担当」40 ページ参照

### 地域づくり塾金沢

先進的な取組や地域活動に求められるノウハウを学ぶことで、地域課題を解決する力を持った人材の発掘・育成を図るための講座です。区役所と区社協が協働して企画・実施しています。

修了生は、「もりのお茶の間」(六浦東地区)、「釜利谷ふれあいカフェ」(釜利谷地区)、「スペース谷津坂」(金沢東部地区)、「レコード鑑賞会」(六浦地区)等で活動しています。

☞ 問合せ先：「地域力推進担当」40 ページ参照

### ボランティア養成講座

区社協(ボランティアセンター・移動情報センター)では、ボランティアを頼みたい、活動してみたい人への相談や情報提供、コーディネートの他、初めて活動する方に向けたミニ講座や出前講座、登録者向ボランティア交流会やフォローアップ研修会等を開催しています。

また、若い世代のきっかけの機会として、地域ケアプラザ・大学と共催した大学生向けボランティア実践講座を開催しています。



☞ 問合せ先：「区社協」40 ページ参照



## 区役所、区社協、地域ケアプラザでも 進めているよ!こんな取組

### 介護予防ボランティア「金沢区元気づくりマイスター」

介護予防活動グループの育成・活性化に向けた金沢区独自の取組として、令和2年度から、介護予防ボランティア「**金沢区元気づくりマイスター**」を養成しています。地域の介護予防活動に主体的に取り組みたい方が区主催の養成講座を受講後、金沢区元気づくりマイスターとして活躍していただいています。

☞問合せ先：「高齢者支援担当」40ページ参照



### キャラバン・メイト、認知症サポーター



金沢区内には、244人  
(令和2年度末時点)の  
メイトさんが活躍中!!

ロバのように急がず、  
でも一歩一歩、着実にキャラバンも進んでいきます。

「キャラバン・メイト」とは、認知症についての正しい知識と具体的な対応方法を市民に伝えることを目的に「認知症サポーター養成講座」を開催し、講師役を務めるボランティアです。

キャラバン・メイトになるためには、所定のキャラバン・メイト研修を受講・登録が必要です。

また、キャラバン・メイトが開催する「認知症サポーター養成講座」を受講した人は「**認知症サポーター**」となります。

認知症サポーターは、認知症を正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かく見守る応援者として、自分のできる範囲で活動します。友人や家族に学んだ知識を伝えること、認知症の人やその家族の気持ちを理解しようと努めることもサポーターの活動です。



認知症サポーターの証  
(左) オレンジリング  
(右) サポーターカード

地域(町内会、学校等)での開催はもちろんのこと、職域(商店や交通機関等生活に密着した業種の方たち)での講座開催により、多数の方が認知症サポーターとなっています。

区役所や地域包括支援センター等の関係機関と連携を図り、見守りや早期対応につながっています。

☞問合せ先：「高齢者支援担当」40ページ参照



「関心をもった取組」や「はじめてみたい取組」はありましたか? 勇気をもって一歩踏み出してみましよう!

## 推進の柱3 みんなで健康づくりに取り組みいきいきとしたまちへ ～地域の健康づくり活動の充実～

### こんな金沢区になったらいいな



すこやか

◆様々な媒体や機会を通じて健康づくりに役立つ情報が提供されている

つながる

◆つながりの中で楽しく取り組むことができる地域の健康づくりの場や機会が充実している

いきいき



#### 一人ひとりが取り組めること

- ・自分や家族の健康に関心を持つ
- ・定期的に健康診断を受ける
- ・食事や運動等の生活習慣を改善する
- ・一人で悩まずに身近な人や専門機関に相談する  
(☞相談先は39ページをご覧ください)
- ・興味がある健康づくりの講座等があれば、参加してみる

「あなた」なら？



#### 地域で協力して取り組めること

- ・みんなで取り組める楽しい健康づくりのイベント等を開催する
- ・健康づくりグループに町内会館等の活動の場を提供する
- ・自主活動のグループは、役割が一人に偏らないよう役割分担を検討する



#### 区役所・区社協・地域ケアプラザの取組

- ・様々な機会や媒体を活用して、健康づくりに役立つ情報を発信します
- ・誰もが参加できるよう、自主活動グループの情報を集約し提供します
- ・地域の活動団体や担い手と連携して、身近な地域での健康づくり活動を広めます
- ・子育て世代や働く世代等、健康づくりのために時間を取りにくい世代に向けた情報発信や情報提供を行います
- ・地域の健康づくり活動が継続できるよう、運営の後方支援を行います

金沢区でも

## はじまっているよ!こんな取組

### 身近な所で健康づくり

身近な公園等に集まり、みんなでラジオ体操をする取組が広がっています。誰もが気軽に参加でき、健康づくりにつながる他、世代を超えた交流の機会にもなっています。

また、シニアを中心にグラウンドゴルフも盛んに行われている他、歴史の名所をめぐるウォーキング等地域の特性を活かした健康づくりもはじまっています。

### 手軽に健康チェック

健康のためには自分の身体の状態を知り、生活習慣を見直すことがとても重要です。地域で行われるお祭りや運動会等の多くの方が参加されるイベントの際に、保健活動推進員を中心に血圧や握力、血管年齢測定等の健康チェックの機会を設けています。また、子育てに忙しいお母さん向けに子育てサロン等に出向いた健康チェックも好評を得ています。

写真  
(調整中)

写真  
(調整中)

写真  
(調整中)

区役所、区社協、地域ケアプラザでも

## 進めているよ!こんな取組

### 元気づくりステーション

地域の中で介護予防・健康づくりに取り組むグループ活動として「元気づくりステーション」があります。金沢区内では、現在26のグループが、自治会町内会館、公園、地域ケアプラザ等地域に身近な場所で、健康体操、ウォーキング等の様々な活動を行っています(令和3年6月時点)。

元気づくりステーションに人が集うことで、高齢者が地域の中で人とつながり、地域の仲間の輪が広がります。区役所の保健師、地域包括支援センター等が活動の立ち上げや運営継続のためのお手伝いをしています。

また、加齢に伴い、虚弱になっても通い続けることができるよう、リハビリテーション専門職と連携し、講師派遣や活動内容のアドバイスも行っています。



かまりや太極拳



能見台・スリーA



スリーA 並木の風

☞ 問合せ先: 「高齢者支援担当」40 ページ参照

区役所、区社協、地域ケアプラザでも  
進めているよ!こんな取組

様々な対象者に向けた講座の開催

♪心と身体の健康のために♪  
他にも色々な講座があるよ。  
お近くの地域ケアプラザで確認してみてね



区内の地域ケアプラザでは、講座の内容や開催場所、時間、曜日等を工夫してより多くの方が気軽に参加できる健康づくりの取組を進めています。

子育て中のお母さんに向けた  
「じぶんみがき」

男性に向けた  
「男性ポッチャ」

日中は忙しい方に向けた  
「ナイトヨガ」

地域ケアプラザまで  
来られない方に向けた  
「出張健康体操」



☞問合せ先：「地域ケアプラザ」40 ページ参照

住み慣れた地域でいつまでも健康に過ごそう！

身近な地域で、私たちと一緒に健康づくりに取り組みましょう！

保健活動推進員

地域の健康づくりの推進役として様々な健康づくり活動に取り組んでいます。

詳しくは 37 ページ参照



いきいきフェスタでの健康チェック



地域での健康チェック

食生活等改善推進員（ヘルスマイト）

区主催のセミナーを受講し、健康づくりのボランティアとして活動しています。

詳しくは 37 ページ参照



イベントでの食育劇



親子と一緒に料理教室

☞問合せ先：「健康づくり係」40 ページ参照

バランスの良い食事、定期的な運動、健診の受診等の健康づくりはもちろん、次のような健康づくりも進めましょう。

●オーラルフレイル：滑舌が悪くなる、食べこぼしやむせ、噛めない食品が増える等の口の機能の衰え（オーラルフレイル）は、身体の機能の衰えにつながります。ブラッシングや健口体操等の口腔ケアに取り組みつつ、ちょっとした変化や衰えに気づいたら相談できる「かかりつけ歯科医」を持ちましょう。

●こころの健康：適度な運動やバランスの良い食事は、身体だけでなくこころの健康のためにも大切です。ストレスが多いと風邪等の感染症にもかかりやすくなります。十分な睡眠をとり、ストレスと上手に付き合い、悩みや身体の不調がある時は、身近な人や専門家に相談してみましょう。



## 第3章 地区別計画について

地区別計画は、生活の中での困りごとや地域の課題に対して、地域の方々を中心に取り組む計画です。区内 14 の連合自治会町内会（地区社会福祉協議会エリアと同じ）で、地区別計画を策定し取組が進められています。

第4期計画は、コロナ禍のため地域で検討の場が持ちにくい状況の中、地区ごとに工夫をしながら『こんな地域になるといいな・・・』という思いを込めて策定に向けた検討を重ねています。



地区別計画は現在、策定中です。令和4年2月発行予定の金沢ささえあいプラン冊子には、次ページ以降に14地区の地区別計画を1地区あたり見開き2ページで掲載予定です。



### 地区社会福祉協議会（地区社協）

地区社協は「自分たちの地域は、自分たちで良くしていこう」という思いで組織された任意団体で、地区別計画の策定・推進の中心を担っています。金沢区には14連合町内会単位に地区社協が組織され、地区別計画の策定や推進を通じて良い地域づくりに向けて活動しています。



メンバー

自治会町内会、民生委員・児童委員、主任児童委員、保健活動推進員、食生活改善等推進員（ヘルスマイト）、青少年指導員、スポーツ推進委員、環境事業推進委員、シニアクラブ、こども会、学校等

# 第4章 金沢ささえあいプラン（第4期計画）の進め方

## 1 計画の推進体制

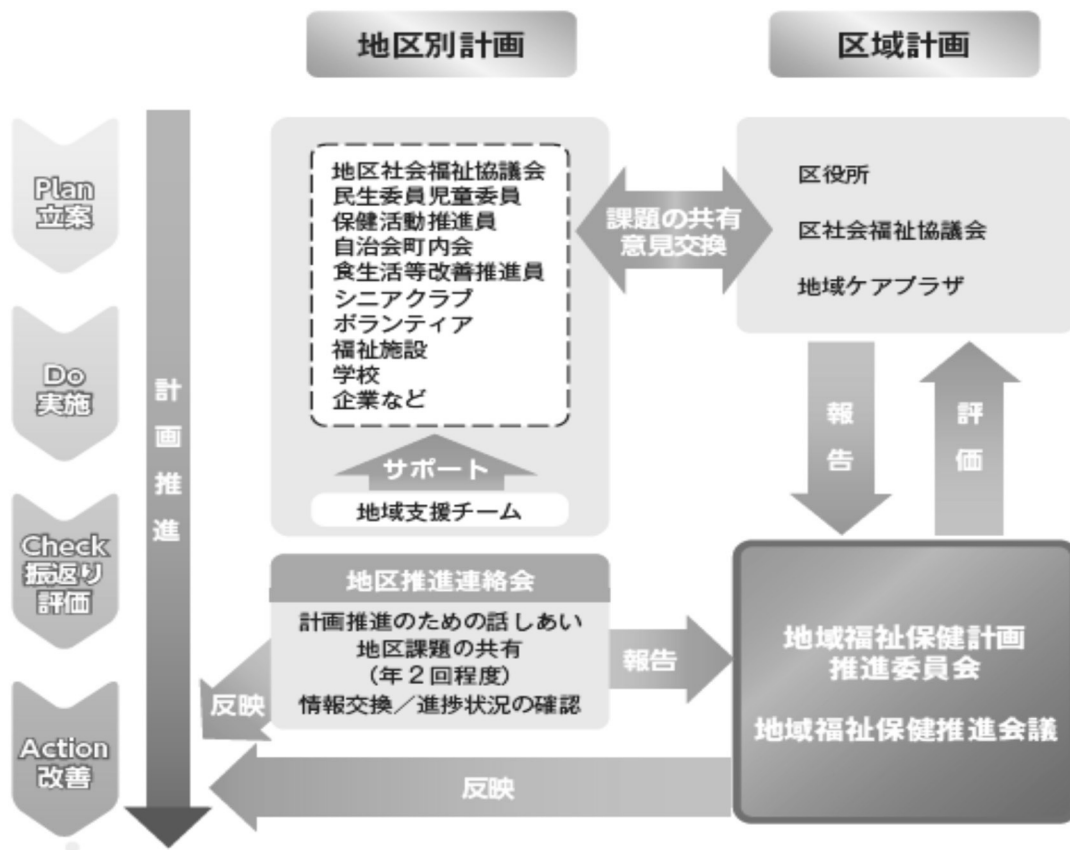
「区域計画」の推進に向けては、地域・区役所・区社協・地域ケアプラザ等がそれぞれの役割を確認しながら協働して取り組んでいきます。

区内 14 地区の「地区別計画」は、「地域支援チーム<sup>※5</sup>」がサポートしながら、地域に暮らす方や活動している方が主体となって推進していきます。

また、「区域計画」と「地区別計画」は毎年振り返りを行いながら各機関が連携して推進していきま

す。取組の成果は、区内の福祉保健に携わる関係者や学識経験者等による地域福祉保健計画推進委員会、地域福祉保健推進会議で報告し、評価を受けながら次年度以降の活動に反映させます。

【計画推進の流れ】



### ※5 地域支援チームとその役割

金沢区では、地域情報の共有及び課題の解決を図ることを目的に、区役所・区社協・地域ケアプラザの職員によるチームを構成しています。チームは14の連合自治会町内会の単位及びLINKAI 横浜金沢に置かれ、地域と協働して地区別計画の策定・推進や地域力向上に向けた支援等を行います。

(※) LINKAI 横浜金沢では、地区別計画を策定していません。主として連絡・調整を行っています。

## 2 各機関の役割

### (1) 区役所

区域計画の策定・推進の中心的な役割を担います。推進にあたっては、個別支援を通して把握した地域の課題や潜在的な課題も認識しながら取組を進めます。また、部や課を越えた連携による分野横断的な「地域と向き合う体制」を整備し、地区別計画の策定・推進等の地域支援に取り組みます。

### (2) 区社協

個別支援(一人ひとりの困りごとの解決等)と地域支援(住民同士のつながりや支えあい活動等の支援)を連動させながら、区社協の事業や会員を始めとしたネットワークを通して、地域課題を把握し、地域住民や社会福祉関係者等の参加・協力を得ながら、その解決の仕組みづくりを進めていくことで地域福祉保健計画の推進に取り組みます。

### (3) 地域ケアプラザ

地域の身近な福祉活動の拠点として、区域計画及び地区別計画の策定・推進について区役所・区社協とともに取り組みます。また、業務や地域とのつながりを通して把握した地域課題の解決に向けた活動や、地域の中での見守りや支えあう仕組みづくりを行う等、地域支援の中核的な役割を担います。

#### 用語解説

##### ■地区推進連絡会

地域に暮らす方が主体となって開催する、身近な地域の様々な生活課題の解決に向けて話しあう場です。テーマに応じて学校・警察・消防・NPO 法人・商店街等の関係機関が集まり、区内 14 の各連合町内会の単位で年 2 回程度開催しています。また地区別計画の推進母体にも位置づけられています。

写真  
(調整中)

##### ■地域福祉保健計画推進委員会

福祉・保健・医療団体関係者及び有識者で構成し、地域福祉保健計画の策定・推進・評価について意見交換を行う委員会です。

##### ■地域福祉保健推進会議

金沢区における福祉・保健・医療の連携及び総合的なサービスの円滑な推進に向けて、関係機関の代表者に意見を求める会議です。



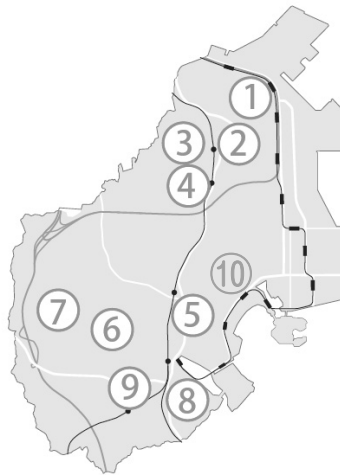
地域ケアプラザってどんな所？



地域ケアプラザは、地域の誰もが利用できる横浜市独自の施設です。小さな子どもから高齢者まで、障害の有無に関わらず誰もが安心して暮らせるよう、身近な生活の相談窓口であるとともに、地域づくりのお手伝いとして様々な人に向けた催しを行っています。また、福祉保健活動団体への部屋の貸出やボランティア活動の支援も行っています。



相談の様子



多世代がつどえるサロン



親子で楽しめるひろば



つながりをつくる講座

金沢区内には現在、①並木、②富岡東、③富岡、④能見台、⑤泥亀、⑥釜利谷、⑦西金沢、⑧柳町⑨六浦の9つの地域ケアプラザがあります。

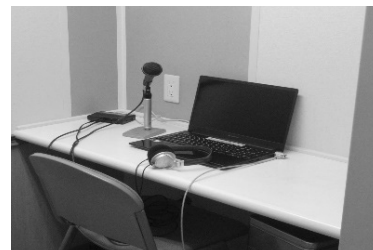
また、令和5年3月に区内で10か所目となる「西柴地域ケアプラザ（仮称）」が開所を予定しています。

☞問合せ先：「地域ケアプラザ」40ページ参照

福祉保健活動拠点ってどんな所？



団体交流室



点字製作室

福祉保健活動拠点は、区民の自主的な福祉活動、保健活動等のための場の提供及びボランティアの育成・相談・支援等を行っています。

団体交流室、対面朗読室・編集室、点字製作室のほか地域ケアプラザとの共有スペースであるボランティアコーナー等があり、区内で福祉保健活動を行っている団体等が利用できます。



☞問合せ先：「区社協」40ページ参照



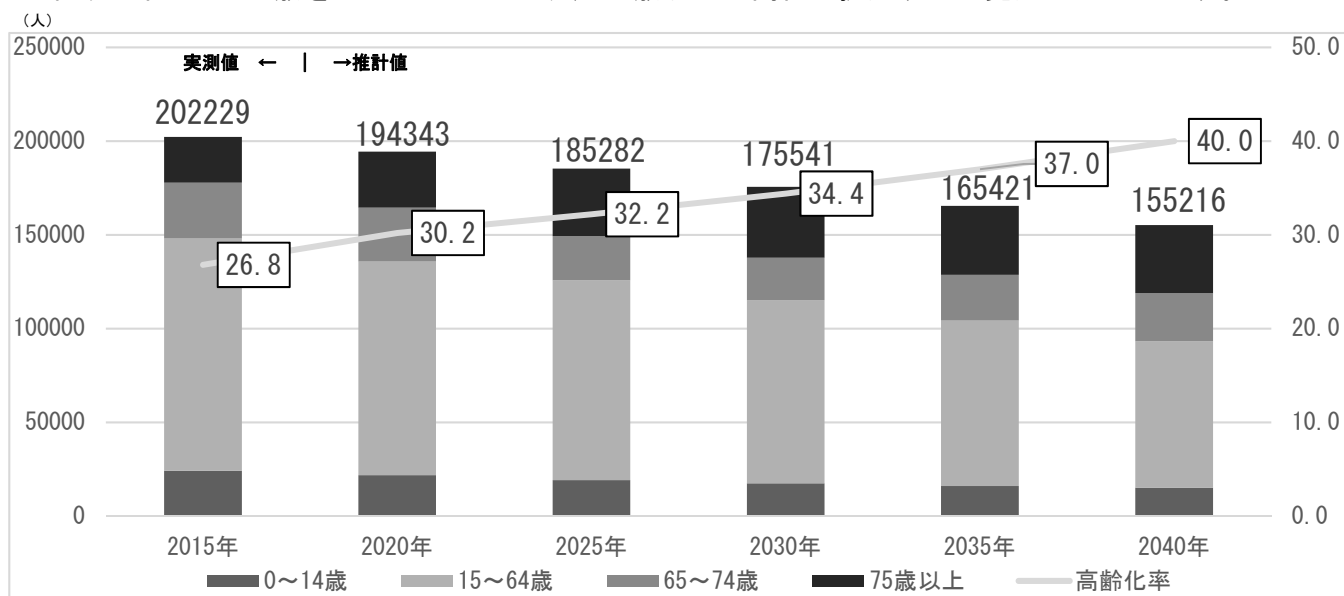
# 第5章 金沢ささえあいプラン（第4期計画）の背景

## 1 データで見る金沢区の状況

### (1) 金沢区の福祉保健に関わるデータ

#### ●人口（年齢4区分別）の推移と将来推計、高齢化率（令和2年(2020年)国勢調査の結果は令和3年11月までに公表予定）

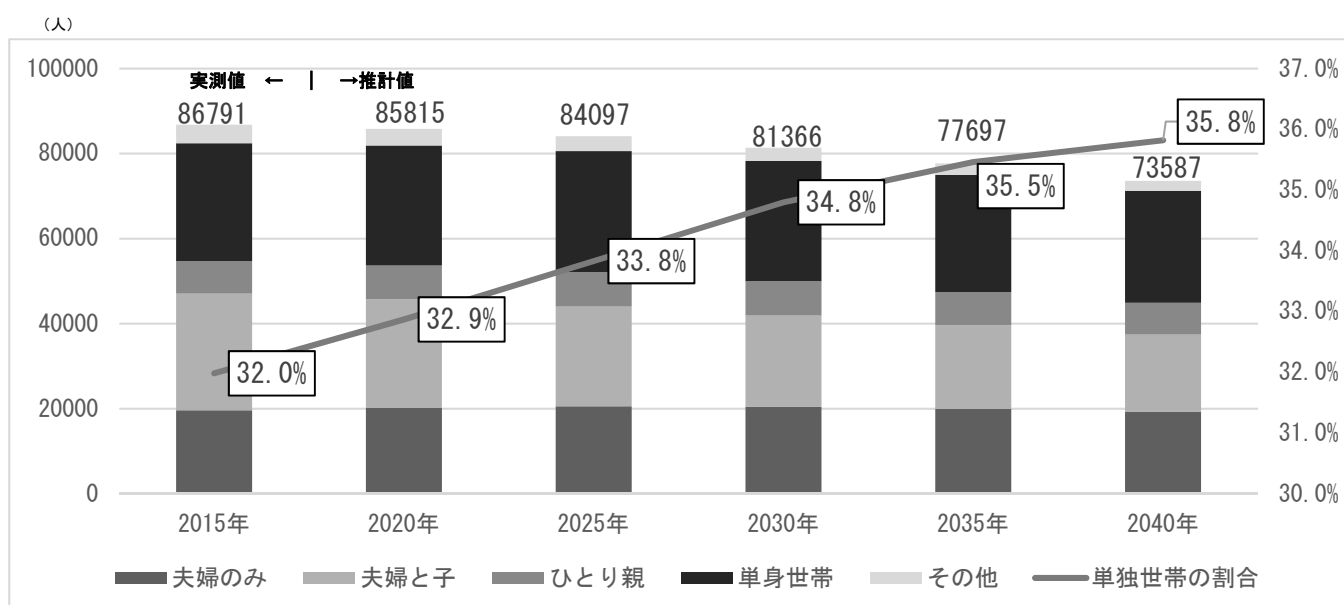
人口は年々減少しています。高齢化に伴って生産人口（15～64歳）が減少し、高齢化率は2025年に32.2%（3人に1人）、2040年には40.0%（2.5人に1人）と推計されます。また、2025年に団塊の世代が75歳を迎えることにより、75歳以上の割合が拡大すると見込まれています。



出典：横浜市将来人口推計

#### ●家族類型別世帯数の推移（令和2年(2020年)国勢調査の結果は令和3年11月までに公表予定）

単身世帯の割合が年々増加しており、2030年には全体の35%を超えると見込まれています。



出典：横浜市将来人口推計

●暮らしの中での気になることや困りごと、不便を感じること（年齢構成別）

全年代層で「自分の病気や健康、老後のこと」が最も高く、次いで「家族の健康・介護」が高い傾向です。また、「事故や災害」についても全世代で上位となっています。

年齢層別では、若年層から高齢層前期（74歳以下）の年齢層で「生活費」に関してが上位。高齢層後期（75歳以上）では「外出時の移動手段」「日常の買い物の便」が上位となっています。

	1位		2位		3位		4位		5位	
		(%)		(%)		(%)		(%)		(%)
若年層（39歳以下） n=617	自分の病気や健康、老後	31.0	こどもの保育や教育	30.8	生活費	28.2	家族の健康や介護	27.9	事故や災害	22.7
中年層（40～64歳） n=1364	自分の病気や健康、老後	59.6	家族の健康や介護	42.6	生活費	27.1	事故や災害	24.0	犯罪や防犯	16.1
高齢層前期（65～74歳） n=839	自分の病気や健康、老後	69.4	家族の健康や介護	41.4	生活費	28.1	事故や災害	22.4	外出時の移動手段	18.0
高齢層後期（75歳以上） n=1158	自分の病気や健康、老後	68.0	家族の健康や介護	33.2	外出時の移動手段	25.0	日常の買い物の便	23.0	事故や災害	19.7

（出典）令和元年度金沢区暮らしや地域に関する意識調査（35ページ参照）

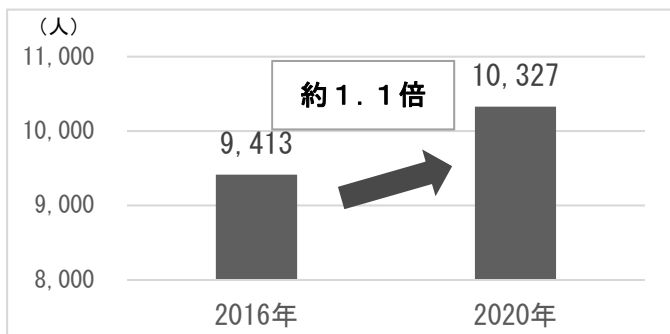
（2）各分野における状況

＜高齢者＞

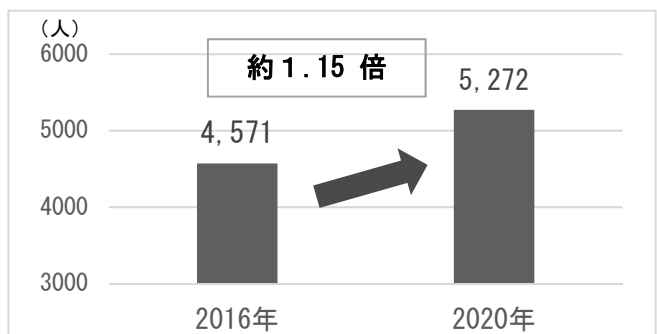
金沢区の高齢化率（65歳以上人口の割合）は、30.2%となり、横浜市平均の24.7%を上回り18区中第2位です。（2021年3月末現在 住民基本台帳による）

高齢化に伴い区内の要介護認定者数は、ここ5か年度で約900人増加し約1.1倍に、認知症高齢者数<sup>※6</sup>は、約700人増加し約1.15倍となっています。

●要介護認定者数の変化



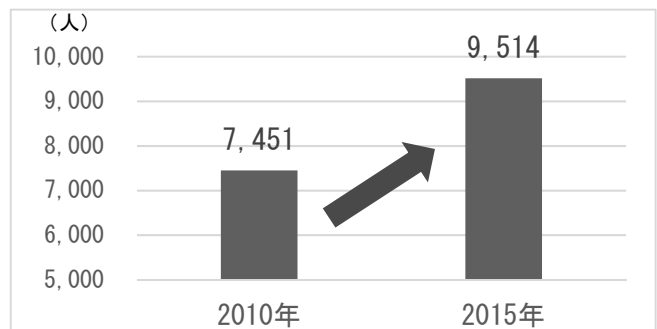
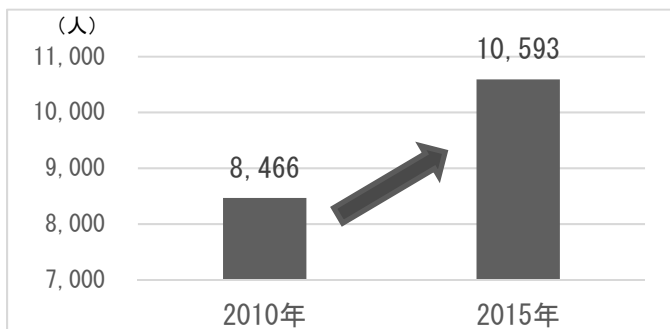
●認知症高齢者数<sup>※6</sup>の変化



※6 区内の介護保険認定者のうち認知症が疑われる高齢者数（認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱa以上の方）

●高齢夫婦世帯と高齢単身世帯の推移

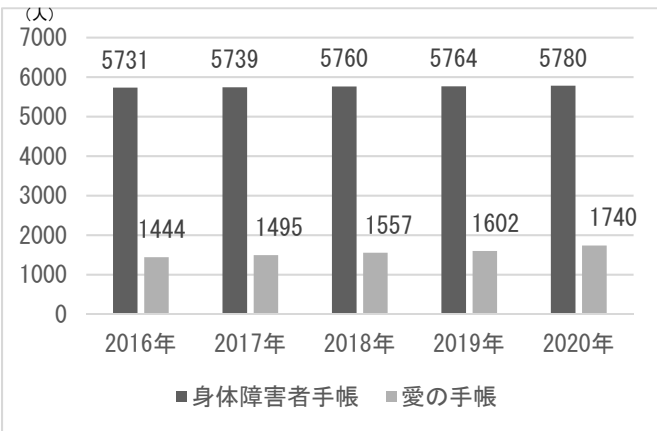
（令和2年（2020年）国勢調査の結果は令和3年11月までに公表予定）



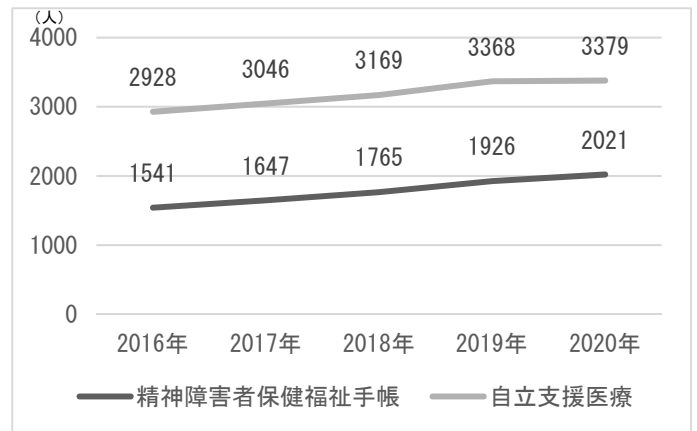
《障害》

身体・知的障害者手帳所持者は横ばいから微増の傾向が続いています、精神障害者保健福祉手帳・自立支援医療（精神科通院医療）受給者は増加傾向にあります。

●身体・知的障害者手帳所持者数



●精神障害者保健福祉手帳所持者・自立支援医療受給者数

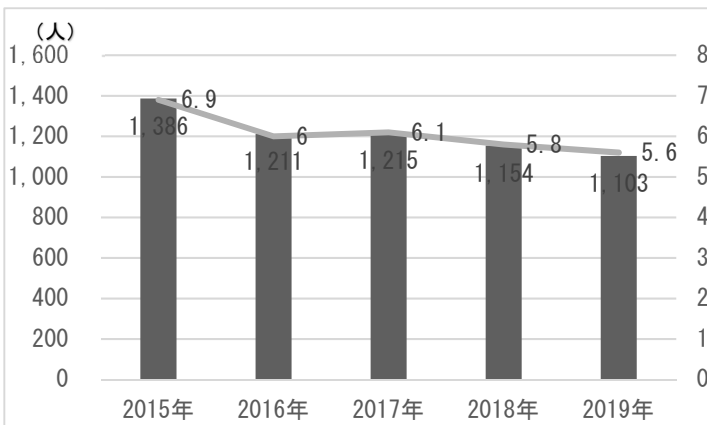


《こども》

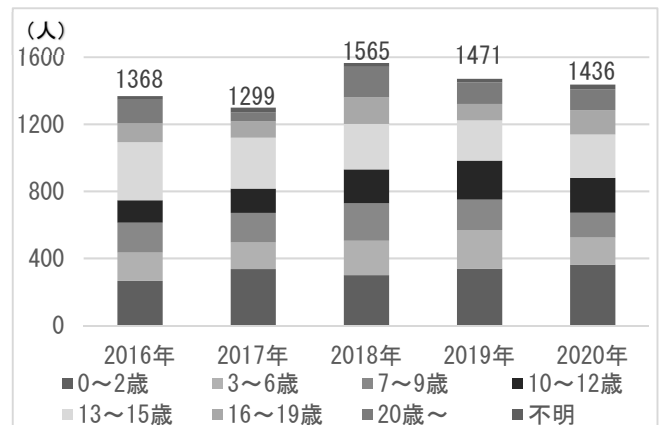
出生数は減少傾向で、出生率（人口千対）は18区中17位を推移しています。

子ども・家庭支援相談の相談件数は、2018年度をピークに減少していますが、特に学齢期の相談割合が多い傾向があります。

●出生数の推移 (2020年度分は集計中)



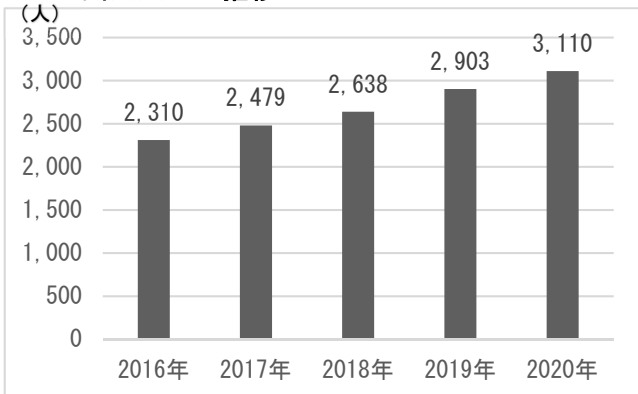
●相談件数



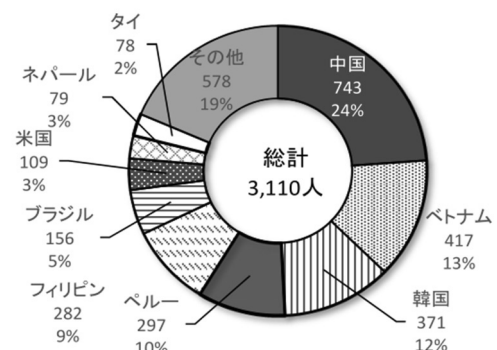
《外国人》

金沢区で生活をする外国人の方は3,110人で横浜市内では14位と人数は少ないですが、5年前から比較すると800人増加しています。

●外国人人口の推移



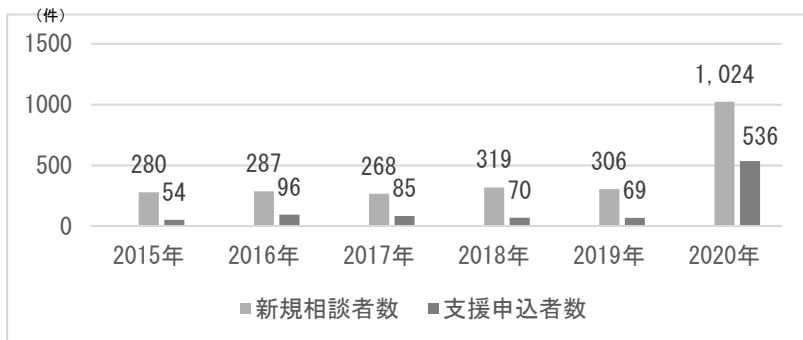
●国名登録人口割合



(出典) 金沢区統計要覧 (2020 - 2021)

## 《生活困窮》

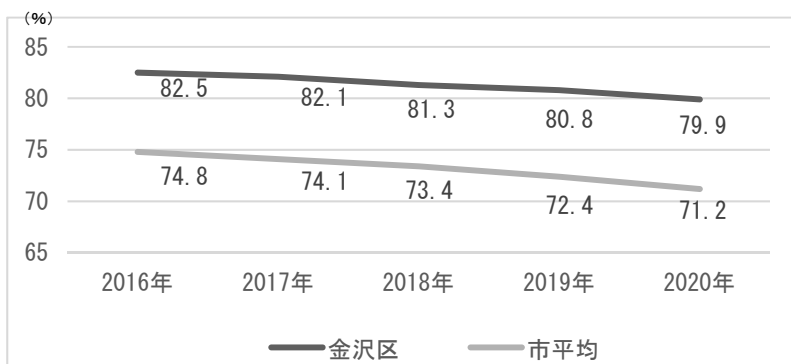
### ●生活困窮者支援制度における相談数



生活困窮者自立支援制度が開始された2015年度以降、新規相談者数、支援申込者数は横ばいでしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度は、2019年度と比較すると新規相談者数は3.3倍、支援申込者数は7.7倍に増加しました。

## 《地域活動の状況》

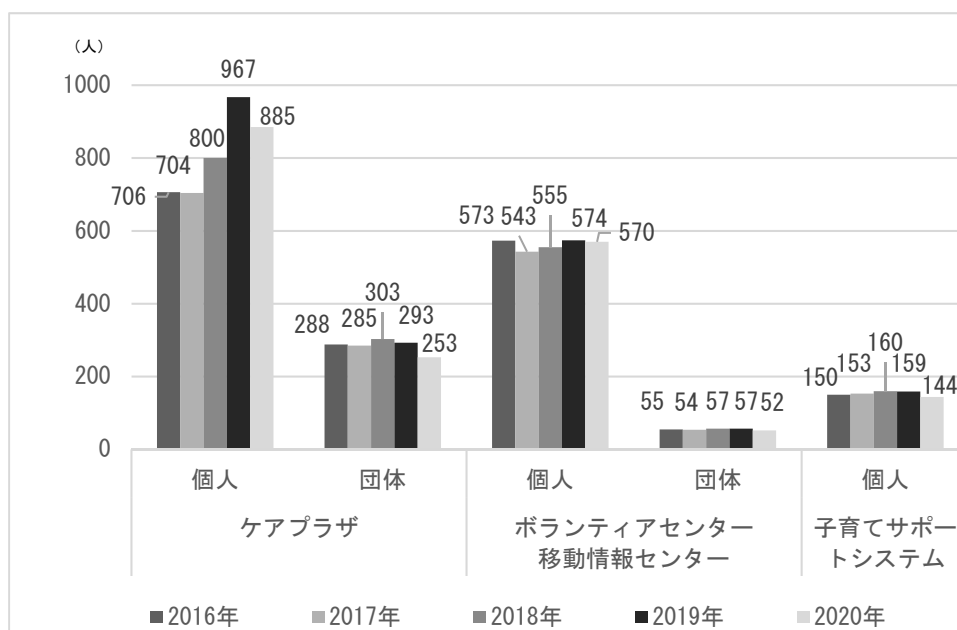
### ●自治会町内会加入率



日頃の見守りや助け合い等地域福祉の推進や、災害等不測の事態や緊急の課題にも対応する、最も基礎的な団体として、自治会町内会の役割はますます重要になっています。

### ●区内のボランティア登録状況

区内の地域ケアプラザ、金沢区ボランティアセンター・移動情報センター、金沢区子育てサポートシステムにおけるボランティア登録者数（延べ）は横ばいの傾向が続いています。



●地域活動者アンケート（自治会町内会等地域役員へのアンケート結果）

地域での支えあいの取組推進の心的な役割を担っている自治会町内会等地域役員へのアンケートでは、福祉保健に関して地域で優先的に取り組んだ方が良いと思うことの1位は「住民同士の関係づくり」となっており、日頃からの住民同士の顔が見える関係づくりが地域での支えあいを推進する基盤と考えられます。

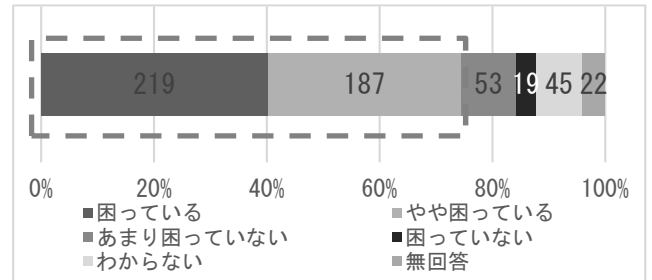
しかし、自治会町内会等地域役員の7割以上が「担い手不足に困っている」と回答しており、地域活動の担い手となる人材の不足は大きな課題となっています。

地域で優先的に取り組んだ方が良いと思うこと

住民同士の関係づくり	46.6%
高齢者の安否確認、見守り	26.2%
認知症になっても安心して暮らせる地域づくり	26.2%
災害時要援護者対策	24.0%
防犯対策	22.9%

（複数回答のうち上位5つを抜粋） n=545

担い手不足について



（出典）令和元年度金沢区地域の福祉と保健に関する意識調査

《令和元年度 金沢区暮らしや地域に関する意識調査の概要》

1 調査の目的

金沢区民の暮らしや福祉、保健に関する意識や行動についての基礎的な状況を調査し、第4期金沢区地域福祉保健計画策定の基礎資料や地域支援に活用することを目的とする。

2 調査期間 令和元年6月～7月

3 対象と概要

(1) 金沢区暮らしや地域に関する意識調査（一般区民対象）

- ア 調査対象 金沢区在住 20歳以上の男女 7,769人（住民基本台帳からの無作為抽出）
- イ 回収結果 4,019件（回収率51.7%）

(2) 金沢区暮らしや地域に関する意識調査（障害当事者団体対象）

- ア 調査対象 金沢区社会福祉協議会第5種会員代表 15団体
- イ 回収結果 10件（回収率66.7%）

(3) 金沢区地域の福祉と保健に関する意識調査（福祉保健活動団体対象）

- ア 調査対象
  - (ア) 区内地域ケアプラザに登録している福祉保健支援団体及び法人（福祉保健目的）
  - (イ) 金沢区社会福祉協議会ボランティア・市民活動分科会に登録している団体計 103団体
- イ 回収結果 90件（回収率87.4%）

(4) 金沢区地域の福祉と保健に関する意識調査

- ア 調査対象
  - (ア) 自治会町内会会長
  - (イ) 地区社会福祉協議会関係者
  - (ウ) 民生委員児童委員（主任児童員含む）
  - (エ) 保健活動推進員 計 825人
- イ 回収結果 545件（回収率66.1%）

## 2 策定経過

年度	月	区計画	地区別計画
元 (2019)	6	基礎調査(金沢区暮らしや地域に関する意識調査)	
	7~9	地域福祉保健計画推進プロジェクト(区・区社協・ケアプラザ) ○第3期計画の振り返りや基礎調査等を基に第4期計画の方向性を検討	
		福祉保健活動団体等へのヒアリング	
	10~12	地域福祉保健計画推進委員会、地域福祉保健推進会議 ○第3期計画の取組状況や課題、第4期計画の方向性等の意見交換	令和元年秋期地区推進連絡会 ○地区ごとの課題に応じた検討、意見交換
	1~3	地域福祉保健計画推進プロジェクト ○第4期区計画骨子案の検討	
○地域福祉保健計画推進委員会へ意見照会 ⇒ 骨子案確定		令和2年春期地区推進連絡会 ○令和元年度の振り返り、意見交換	
2 (2020)	4~11	地域福祉保健計画推進プロジェクト ○第4期計画の取組内容の検討、地区別計画策定支援の検討	令和2年秋期地区推進連絡会 ○第3期計画の振り返り ○第4期計画の検討
	12~1	地域福祉保健計画推進委員会 地域福祉保健推進会議(書面開催) ○第4期計画の取組内容の検討、地区別計画策定支援の検討	令和3年春期地区推進連絡会 ○第3期計画振り返り ○第4期計画の検討
3 (2021)	4~6	地域福祉保健計画推進プロジェクト ○第4期区計画素案の検討、地区別計画策定支援について	
	7~8	地域福祉保健計画推進委員会、地域福祉保健推進会議 ○第4期地域福祉保健計画素案確定	
	9~10	第4期計画<区版>素案に対する区民意見募集	令和3年秋期 地区推進連絡会 ○第4期計画の検討、計画確定
	11~12	地域福祉保健計画推進委員会、地域福祉保健推進会議 ○区民意見募集の結果報告、第4期地域福祉保健計画確定	
	2	第4期計画確定	令和4年春期 地区推進連絡会 ○第4期計画の周知、推進

新型コロナ  
ウィルス  
感染拡大

地区推進連絡会は中止または感染予防対策に留意して開催

### 1 地域で活動する主な活動団体等

#### ■自治会町内会

地域に居住する人々が、身近な問題を解決したり、地域の人々との結びつきを深めながら、豊かで住みやすいまちづくりを目指して自主的に運営している民主的な団体です。(令和3年4月現在 170 団体)

金沢区町内会連合会は、区内 14 地区の連合町内会の代表者によって組織された団体であり、防犯や防災、福祉、環境問題等について、地域の意見を代表して区に意見を延べ、区政の運営に反映させる等暮らしやすいまちづくりの実現のために日々活動しています。

#### ■地区社会福祉協議会

27 ページ参照

#### ■金沢区民生委員児童委員協議会

民生委員・児童委員は厚生労働大臣と横浜市長から委嘱された特別職地方公務員です。

地域の身近な相談相手として、介護や子育て等福祉に関する様々な相談に応じ、区役所や関係機関を紹介する「つなぎ役」として活動しています。金沢区には、金沢区民生委員児童委員協議会と 16 の地区民生委員児童委員協議会があります。(令和3年4月現在 256 人)

#### ■金沢区主任児童委員連絡会

主任児童委員は、子どもや子育てに関する支援を専門に担当する民生委員・児童委員です。相談内容に応じて、エリアを担当する民生委員・児童委員や区役所、学校、児童相談所等と連携して支援を行っています。(令和3年4月現在 28 人)

#### ■金沢区保健活動推進委員会

保健活動推進員は、自治会町内会の推薦を受けて市長に委嘱された、地域の健康づくり活動の推進役、横浜市の健康施策のパートナーです。地域において生活習慣病の予防等の健康づくり活動や、活動に取り組む環境を支援する役割を担っています。(令和3年4月末現在 237 人)

#### ■金沢区食生活等改善推進委員会（愛称 ヘルスマイト）

食生活等改善推進員は、「私たちの健康は、私たちの手で」をスローガンに、食生活・運動・休養の健康づくりを地域に普及している全国組織のボランティア団体です。健康寿命の延伸を目的とした健康横浜 21<sup>※7</sup>に基づき、乳幼児から高齢者までのライフステージに合わせた健康づくりや食育の啓発活動を地域と連携しながら推進しています。(令和3年4月末現在 147 人)

※7 健康横浜 21 とは

市民の最も大きな健康課題である生活習慣病に着目した横浜市における健康づくりの指針

#### ■金沢区シニアクラブ連合会

シニアクラブは、高齢者が住み慣れた地域での仲間づくりをとおして、生きがいと健康づくり、「生活を豊かにする楽しい活動」を行っています。その知識や経験を生かして、地域の諸団体と共同し、「地域を豊かにする社会活動」に取り組み、明るい長寿社会づくり、保健福祉の向上に努めています。

また訪問や電話による見守り、集いの場づくり等をとおして高齢者相互の支えあい活動を進めています。(令和3年4月現在 5,633 人)

#### ■金沢保護司会

保護司は、社会奉仕の精神をもって、罪を犯してしまった人の更生を手助けするとともに、犯罪の予防のための啓発に努め、公共の福祉に寄与すること等を使命としています。保護司は、法務大臣より委嘱され、都道府県の区域を分けて定められた保護区に保護司会を組織するものとされています。(令和3年4月現在 28人)

#### ■金沢区更生保護女性会

女性の立場から次代を担う青少年の健全育成に努めるとともに、過ちに陥った人たちの立ち直りを助け、明るい社会づくりを目指すボランティア団体です。社会を明るくする運動街頭キャンペーンを実施するほか、地区大会・ミニ集会への参加・協力、更生を願って会員が手書きした“愛の年賀はがき”を少年院等に贈る活動を行っています。(令和3年4月現在 160人)

#### ■金沢区青少年指導員協議会

青少年指導員は、青少年健全育成を図ることを目的として、自治会町内会や学校等地域と連携しながら、青少年の自主活動とその育成活動を推進しています。各地区の見守り活動やパトロールのほか、キャンプ等のイベントの企画・実施等を行っています。(令和3年4月現在 125人)

#### ■金沢区スポーツ推進委員連絡協議会

スポーツ推進委員は地域(地区連合町内会または自治会町内会)を活動拠点として、地域住民のスポーツ・レクリエーション振興についての理解と関心を高めるため普及活動やスポーツ活動の企画・運営、指導者の育成・発掘等の活動を行っています。地域の組織として金沢区スポーツ推進委員連絡協議会があり、市・区・地区・各種スポーツ団体が催すスポーツ振興事業の企画への参画や運営協力をしています。(令和3年4月現在 116人)

#### ■環境事業推進委員

地域でのごみの減量による脱温暖化にむけた3R(リユース・リデュース・リサイクル)活動と地域の美化や清潔の保持等を推進しています。各地区でのごみ集積場所等における分別排出の普及啓発や不法投棄やポイ捨て等街の美化にかかわる取組を進めています。(令和3年4月現在 204人)

#### ■金沢防犯協会

犯罪のない明るい街づくりに寄与することを目的として、金沢警察署や金沢区役所をはじめ関係機関、地域のボランティア等と協働し、地域安全活動への協力・支援をするとともに、区民の皆様が安全で安心して暮らせるよう防犯意識の高揚を図り、少年の健全育成活動の推進等を行う団体です。毎月10日を「防犯の日」とし、防犯キャンペーンの開催や防犯パトロール等を行っています。

(令和3年4月現在 個人会員 227人 自治会町内会 170団体)

#### ■家庭防災員

「自らの家庭は自らの手で守る」ため、家庭や地域における防災の担い手として、防火・防災に関する知識及び技術の研修を受けた人です。地域での自主活動等を通じて防火・防災に関する啓発活動を行っています。(令和3年4月現在 1,938人)

#### ■金沢消防団

普段は仕事を持ちながら、火災発生時の消火活動、地震や風水害等の大規模災害発生時における救助・救出活動、警戒巡視、避難誘導等を行う市町村の消防機関のひとつです。金沢区では8つの分団に分かれて活動しています。また、平常時においても、訓練のほか、応急手当の普及指導、地域での防災指導、巡回警戒、広報活動等、地域における消防力・防災力の向上や地域コミュニティに維持・振興において重要な役割を担っています。(令和3年4月現在 550人)



## 2 相談・支援機関一覧

名称	相談内容	連絡先・住所・開所時間	
地域ケアプラザ	地域の身近な相談窓口として、子どもから高齢者、障害児・者の福祉・保健に関する相談を受けて、内容に応じて必要な情報提供や支援につながります。	連絡先は 42 ページをご覧ください 月～土曜日 9:00～21:00 日曜日 9:00～17:00	
金沢区地域子育て支援拠点 「とことこ」	子育てに関する悩みや心配事があれば、気軽にスタッフに相談できます。また、相談対応専任職員（横浜子育てパートナー）や、地域の中での預け、預かり合いをコーディネートする横浜子育てサポートシステム事務局を担っています。	電話 780-3205 FAX 780-3206 火～土曜日 9:30～15:30	能見台東 5-6 (2階)
こども家庭支援センター 「さくらの木」	子育てやご家庭に関するさまざまな相談を心理士や相談員がお受けしています。必要に応じて関係機関と連携して支援します。	電話 355-0006 毎日 10:00～18:00	能見台通 16-25
金沢区基幹相談支援センター 「金沢地域活動ホーム りんごの森」	障害のある方が住み慣れた地域で暮らし続けるため、障害のある方やその家族、関係機関等から生活上の困りごとや障害福祉サービス全般についてご相談に応じています。	電話 374-3463 FAX 374-3409 月～金曜日 9:00～17:00	富岡東 6-2-2 富岡東金井ビル 3階
金沢区生活支援センター 「愛&あい」	こころの病のある人や家族等が安心して地域で生活を送れるよう精神保健福祉の相談に応じています。	電話 701-4116 FAX 701-4116 月～土曜日 9:00～16:00	泥亀 2-1-7 鈴木ビル 2階
金沢区障害者後見的支援室 「帆海（ほなみ）」	親なき後も障害のある人やその家族が生涯にわたって安心して地域で暮らせるよう、日常の見守りや将来への相談に応じています。	電話 788-2114 FAX 788-2160 月～金曜日 9:00～17:00	釜利谷東 2-15-20 金沢文庫 金井ビル 1階
金沢区民活動センター 「ゆめかもん」	身近な地域における市民活動や、生涯学習を始めたい・深めたいという方を対象に相談や各種講座、情報提供等を行っています。	電話 788-7803 FAX 789-2147 第一日曜日、年末 年始祝日除く毎日 8:45～17:00	泥亀 2-9-1 (区役所 2階)
金沢国際交流ラウンジ	区内の在住外国人支援・国際交流・多文化共生を目的とし、日本語教室や窓口での相談対応を通じ、外国につながる方の生活支援を行っています。	電話 786-0531 FAX 786-0532 月～土曜日 9:00～17:00	泥亀 2-9-1 (区役所 2階)
こころの電話 金沢	研修を受けたボランティアが誰もが感じる寂しい思いや孤立感に寄り添いながら相談に応じています。	電話 785-8740 FAX 785-8749 月～土曜日（水 曜・祝日・年末年 始除く） 9:30～16:30	洲崎町 2-6

◆金沢区役所の各課においても相談に応じています。

◆感染症等の状況により開所時間を変更している場合があります。事前にお問合せください。

### 3 区域計画の取組にかかる問合せ先一覧

名称		連絡先	住所・開所時間
区役所	福祉保健課	運営企画係	電話 788-7820 FAX 784-4600
		事業企画担当	電話 788-7824 FAX 784-4600
		健康づくり係	電話 788-7840 FAX 784-4600
	高齢・障害支援課	高齢者支援担当	電話 788-7777 FAX 786-8872
		障害者支援担当	電話 788-7848 FAX 786-8872
	こども家庭支援課		電話 788-7785 FAX 788-7794
	生活支援課		電話 788-7814 FAX 788-7883
	区政推進課		電話 788-7726 FAX 786-4887
	地域振興課	地域力推進担当	電話 788-7809 FAX 788-1937
		区民活動支援担当	電話 788-7806 FAX 788-1937
土木事務所		電話 781-2511 FAX 781-2822	
図書館	金沢図書館	電話 784-5861 FAX 781-2521	寺前 1-9-26 開所時間は区役所と同じ 泥亀 2-14-5 (金沢地区センター併設) 火～金曜日 9:30～19:00 土～月曜日・祝日、12月28日 9:30～17:00 1月4日 12:00～17:00
区社協	金沢区社会福祉協議会	電話 788-6080 FAX 784-9011	泥亀 1-21-5 (いきいきセンター金沢 1階) 月～土曜日 9:00～17:00
ケアプラザ  (開所時間は39ページ参照)	並木地域ケアプラザ		電話 775-0707 FAX 775-0877 富岡東 2-5-31
	富岡東地域ケアプラザ		電話 776-2030 FAX 770-5010 富岡東 4-13-3
	富岡地域ケアプラザ		電話 771-2301 FAX 771-2360 富岡西 7-16-1
	能見台地域ケアプラザ		電話 787-0991 FAX 787-0993 能見台東 2-1
	泥亀地域ケアプラザ		電話 782-2940 FAX 782-2959 泥亀 1-21-5 (いきいきセンター金沢 1階)
	釜利谷地域ケアプラザ		電話 788-2901 FAX 788-2906 釜利谷南 2-8-1
	西金沢地域ケアプラザ		電話 788-2228 FAX 780-3080 釜利谷南 3-22-3
	柳町地域ケアプラザ		電話 790-5225 FAX 790-5227 柳町 1-4
	六浦地域ケアプラザ		電話 786-8801 FAX 786-8802 六浦 5-20-2
	西柴地域ケアプラザ(仮称) (令和5年3月開所予定)		電話 未定 FAX 未定 未定

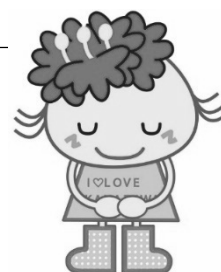
# 金沢ささえあいプラン（素案）ご意見募集について

将来にわたって、誰もが安心して健やかみ住み続けられる金沢区になるように、金沢ささえあいプラン（素案）の内容に対するご意見やご提案をお寄せください。

提出方法については裏面をご覧ください。

## 【ご提出にあたり、以下の点にご留意ください】

- ・いただいたご意見は今後の計画策定や地域福祉保健施策の参考とさせていただきます。
- ・後日、ご意見を取りまとめたものを金沢区地域福祉保健計画推進委員会、金沢区地域福祉保健推進会議へ報告するとともに、ホームページにて公表します。
- ・ご意見に対する個別回答はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ご意見の提出等に伴い取得した個人情報は適正に管理し、この意見募集以外の目的で利用することはありません。



キリトリ線  
郵便はがき

料金受取人郵便  
横浜金沢局  
承認  
430

2 3 6 8 7 9 0

横浜市金沢区泥亀2-9-1  
金沢区役所福祉保健課  
事業企画担当 行

差出有効期間  
2021年10月8日まで

**見本**

配付されている冊子のハガキをお使いください

・差出人情報  
あなたのお住いの町名を記載してください。

(該当するところに○をつけてください。)

性別	男	女	その他・答えたくない		
年齢	a. 20歳未満	b. 20~39歳	c. 40歳~64歳	d. 65~74歳	e. 75歳以上

ご意見等は

令和3年9月11日（土）から

**令和3年10月8日（金）まで（必着）**

にお寄せください。

素案は金沢区及び金沢区社会福祉協議会ホームページでもご覧いただけます。

### 【金沢区役所】

[https://www.city.yokohama.lg.jp/kanazawa/ku-rashi/fukushi\\_kaigo/chiiikifukushi/fukushi-plan/chifuku.html](https://www.city.yokohama.lg.jp/kanazawa/ku-rashi/fukushi_kaigo/chiiikifukushi/fukushi-plan/chifuku.html)

### 【金沢区社会福祉協議会】

<http://www.kanazawa-shakyo.jp/>

金沢区地域福祉保健計画

検索



## ご意見・ご提案の提出方法について

◆次のいずれかの方法でご意見をお寄せください。

電 子 申 請  
フ オ ー ム

携帯電話、スマートフォン、パソコンから  
ご利用ください。



(右記二次元コードまたは下記 URL からアクセスできます)

<https://www.e-shinsei.city.yokohama.lg.jp/yokohama/uketsuke/dform.do?id=1625789957440>

電 子 メ ー ル

kz-chifukuplan@city.yokohama.jp

郵 便

素案冊子の裏表紙に印字されている専用ハガキをご  
利用ください。その他、封書でも可能です。

F A X

045-784-4600

※電子メール・封書・FAXの場合、書式は問いませんが、裏面ハガキの差出人情報をご記入ください。



この冊子を開いてみてどんな  
ことを感じたか、感想でも良  
いよ。  
たくさんのご意見お待ちしております。

### 発行・お問合せ先

#### 横浜市金沢区役所 福祉保健課事業企画担当

■〒236-0021 横浜市金沢区泥亀 2-9-1

■電話：045-788-7824

■FAX：045-784-4600

■Eメール：kz-chifukuplan@city.yokohama.jp

#### 社会福祉法人 横浜市金沢区社会福祉協議会

■〒236-0021 横浜市金沢区泥亀 1-21-5

■電話：045-788-6080

■FAX：045-784-9011

■Eメール：info@kanazawa-shakyo.jp

計画素案について、ご意見をお聞かせください。

見本

ご協力ありがとうございました。